大演習は大演習は

既のため二十二十午後二十二十年後

が治に居て亂を忘れず

大角海相の車中談

非常時、獨逸の姿。

猶太人排斥理由

伯林政治大學教授

ス・ム

うだ、日路戦争をやるなどゝい やつて行くより仕方はあるまい が戴相は増税をしない意向のや 絶對にしない をか全てるやうなケチなこさは ・ さか全てるやうなケチなこさは ・ これが類りにあるが、そんなこ

荒木陸相語る

極的動員を圖ることを測算人その他の問題に騙し大概左の他の問題に騙し大概左の、滿洲順を濟餐展のため極力内地金融資本圏の積め、大概左側のでは一、流洲順を濟餐展のため極力に対した。

終聽を指題するであらうさみられ、米ソ復変変徴もこの點で延引するであらうさみられてゐる思想質繁健師では後来の他飛嶽の難ソ職変徴よりも強硬であらうし、第三インターナショナルのから好評である、國内師にはニラに反連せんさする農民人心の轉換策さみられる、都能決測そでから好評である、國内師にはニラに反連せんさする農民人心の轉換策さみられる、都能決測そで、東京特電二十三日發』ニューヨークよりの情報によれば、アメリカのソ職座認問題を

意民人心の轉換策さみられる、都像決済その

スーナショナルの行動はソ際政府の責任なりさする明確なのソ職未認問題は財界においても原料品獲得、肥格擴張上の機能激励をは容易に成立しようが、実産

日蘇戦争などは

にソ戦政府は世界最大の資本主義国家の承認なもつて国民に覚悟しその地位な範囲にすることが出来るであらうさになる。 文那と 緒び ア メリカの 援助を 待て 積極政策に轉換すべく、このため北郷問題その他の慰案に難しては継続により日 獨兩 國を牽制し、日本の混海州適出を阻止し、且の滿洲 國 境に やいて 従來の 平和 政策を捨東京特電ニ十三日襲1その航に密せる情報を総合するに、ソウエート政府はアメリカ大統領のメッセージを眺望し 兩國の 接近提東京特電ニ十三日襲1その航に密せる情報を総合するに、ソウエート政府はアメリカ大統領のメッセージを眺望し 兩國の 接近提展京特電ニ十三日襲1その航に密せる情報を総合するに、ソウエート政府はアメリカ大統領のメッセージを眺望し 兩國の接近提

1、滿、獨三國を牽制か

外交政策轉向說

米蘇復交交渉の難關

既に戯目前行政院宛右記載に繋する総数支出方力を管につき部内で考究中のさころ、明年より

支那の建艦計書

南京政府海軍部は國際的建場熱に刺載され海軍 『上海二十二日發回通』支那側消息によるさ。

共産思想宣傳の責任問題

界 永 鈴 人行費 治代 雲本橋 人婦糊 盛武 村 本 人剛印 地香一卅町團令東市連大 粒報日洲滿 社會式條 所行賽

北寧局長任命

瞬間の同致上に非常な経験を舞へ一てある 米・蘇の接近ご

● 日来電によれば米無機近に難しむ。● 「東京特権二十三日襲」パリ十七一機的て関係の態度

億弗を投

図から日本に對する何等かの策 戯

▲是村一本氏(樂體陸軍心將)同上 ▲中村第三郎氏(中村合資社長)

愈發展! 築え!

面白く爲になる唯

少年技師の檜舞臺たる年一の科學雑誌。本號は又

本號は又

回の製作品展覧會特輯だ。

築統制主義の前途は非常に興味を 関極来の関浦なる影響を舞らて同じ 関極を関連なり、解け たいで大き、お客様もお摘びに ひたい

間点を聞くる、最子の、彼を追

ろく、映寫を始めませうでござい

五日曜京する駐日ソウエート大使『東京特観二十三日報』來る二十 十一月中着任

宗の投資を誘動しては一定程度以 戦前低率なるもの 戦に對しては一定程度以 戦に對しては一定程度以 戦に對しては一定程度以 大変大家的見地より 戦に對しては一定程度以 は 数しては一定程度以 は 数しては一定程度以 は 数しては一定程度以 は 数 とて神戸に駐在したことがあり、 とて神戸に駐在したことがあり、 をスクワでは外務人民委員部の東

うすりい丸船客

邦人を排斥

ム島で

米國に對し嚴重

情さんに試一アの物は、あの人の微技が非常

筋の低間類人に繋する艦艇的人能 概治の南岸能器に記き来郷グアム 脚

雅ごユダヤ人が発能を有つて 致したのであります、法律家はごうかと申し ンペルなどの数

▲河本大作氏(湍線選事) 世三日 午前七時四十分者列車にて時任 一種開発氏(率山機路局長)廿三日 年前養氏さにて北行 年前養氏さにて北行 東京忠男類彰會主 ルット同上 本平野委氏(山海關税制長)二十男が、ご

等りまして色く圏控制会主義に

れな無理に追び出したさいふこと、以今申上げましたやうに決してこ

突然戻またグラつく。 際室のガへ行っていただくこさに 「さうれ、それでは、皆さんに誠

で変態反またグラつく。 支那の飛騰親来際策、アツかで 都下の軽々たる大新聞の麻癬が響 をう言って、それんとに、ボケットから出した名刺には、何れもであった。 たは、今日の家内も何も 日本でも取って来いさ言ふ

佐然さして家の職業が際配して新

等によって失けれた数はごと

千人以上居りますが、これらは

なほこれに世界戦争に参加した

なはほくへして言った。こんな試験会などに、大新版の歌教が来て、品子とはほくへして言った。こんな試験の歌教が来て、品子 記者たちが、何かこそり

目高もさゝ(魚)まじり

その段想敵國はり多分オモチャ

飛んだスポーツの歌。

別日本さの親養職一 動物されてもこれには難じない

日下特務部、消暖、清洲風館の上の各駅の外外側間部に関して

第一を目標に

- 機転機製造のため一千五百萬沸を刺消て来る域のでアメリカ政府は世界第一空軍監視のため一億

アー等書記官 なったやうつ

使たのは、もう定動の二時に近い頃、十一子たちのさころへ、さう言つて来れている。

あつて、髪つて磨りませんでござ





9解年天體観察の一年(十一月の空)

梅 切 嚴 守 一月七日迄 言 福引付均

十八百八千九第

四百五十餘名殺到

鐵路總局の雇員試験

保線、各営主任

乙元帥陛下 演習地に御進發 福井に向はせ給ふ

務官、山本内根、三土織根以下

外、市民奉拜の中を京都等に向に供奉、第十六師閲覧下の軍院堵

日

名の局極戦の採用試験を二十三日【奉天電話】戦終機局では約五十

日 たころ希望者は四百五十餘名あ で残り四百餘名は再び放戦地税がり中には東門戦校を卒業したもの 5一時深伝せればなら四者人ばがなご年齢十九歳から三十五、六歳 りである、右につき機局人事将成のもので何れも涌州域に深い希望 は踏る は踏る は踏る

た、機局ではこれらのうちから配った、機局ではこれらのうちから配った。 があるものその他大多数は 数ケ月間知人、解友宅に世話にな 数ケ月間知人、解友宅に世話にな が、機局ではこれらのうちから配った。

滿洲代表選毛

神宮競技

はるびん丸で出發

四百繼走の

替玉を防ぐ 埠頭臨時傭員に指紋

那麽し持つた学就を取出し恐怖する家族を弥楽に押込んで主人に窓内させ金惠百十冊連通り五番地亞州秘店方に自転車を繋付け客を裝って入り十三個の靴を買ひ代金を支密死の努力で一群打恋旅襲を見た矢先、軽び三人組ギヤング隊が二十三日午前七時母の死の努力で一群打恋旅襲を見た矢先、軽び三人組ギオング隊の「奉天電話」残さなく置さなく脱密な響が纏を着り惚行する三人組挙就ギャング隊の

「 「新京二十三日登員通」日本傳書 「新京二十三日登員通」日本傳書 「大公主」はで 「大公学主の修献祝詞に依っ 氏の形態の下に午前十時三十分より 氏の形態の下に午前十時三十分より 献納式場合の

★幹事 片岡無送誤員、藤野工務

滿人部落に 潜入か

水原選手の

大會申込締切市民體育ボール

所總務課苑申込まれたし

昨夜の大警戒

予 元 報 氣 二十四日

速東半島附近の警戒北西の風(睛)

清潮(午歲一時20分 中潮(午後) 二時25分 各地溫度 公司士三百年前十一

十数名の急報を受け合十字路には に所轄等地署は管視艦の新撰組二 に所轄等地署は管視艦の新撰組二 かの小洋

新疆し持つた劉鋭を取出し恐怖する家族を別認に判るでは直に非常線を思り犯人の捜査を行つにが未だ掃線に至らない脈は彩内の鐵子を知つた着らしい。 の政部を吸打して透走した、怠糕により来天器では直に非常線を思り犯人の捜査を行つにが未だ掃線に至らない脈は彩内の鐵子を知つた着らしい 市域権天自拔の渡 ********** 高局は昨夜艦艦廠が引揚げ後-の機動要求に膨大側は感じ飛れる。 花の銀座も 恐怖の渦 陳謝要求で 粒選甘栗がおけれる 常盤標電三IODE 慶應側拒否 付参加希望チーム大兵をはいて

二人組の拳銃强盗

また奉天に現はる

けさ浪速通の靴店に

が倫実多數ある見込が修業多數ある見込 大商相撲敗る

●果然大好評!デンメイの「大學の歌」キング連載「振分小平」●

連日滿員御禮 Ħ 活 館

●「振分小平」主題歌ポリドールレコード第二四九號

十月二十日より三十一日迄 皮類大賣出 期間中正札の 割引大勉强

御待ち申しまず。一つは御便宜な御相談に應じます是非一度御來店の程を品に對しては御便宜な御相談に應じます是非一度御來店の程をいる。オーバ裏、防寒帽子、手袋、皮服其他在庫豐富に取揃へ御新調銀狐、赤狐、十字狐、綠狐、カワウソ、虎、豹……等御婦人用肩掛と外銀狐、赤狐、十字狐、綠狐、カワウソ、虎、豹……等御婦人用肩掛と外

遼東百貨店毛皮部

が歌に東なからなくこの 部家に身ながらなくこの かない かんしょう かんかん しくこの 旅順白 秋季以

委良長以下各委員によって戦かに 前十時から概管制に於て突厥策矩。 押めり市中は各月國族を撤 があり市中は各月國族を撤 があり 祭宝典山 けふ殿かに

歌等は院殿、万萬郷兵館代志、将池 市最、下田城寮官最そりました。 市最、下田城寮官最そりました。 大学院、大学院、大学院、大学池

また早慶戦に暗影 ・動機船が二十一日午前五時頃後 にの旅順管内双航間に設施せん に二十二日午後五時頃回頭会議 に上十二日午後五時頃回頭会議 にお施順管内双航間に設施せん 東郷滅のため船に顕徹し艦貨廠 大き工大教(この網名は穀脈 大き工大教(この網名は穀脈 大き工大教(この網名は穀脈 大き工大教(この網名は穀脈 に於て鄗三の死艦が養見された中のさころ二十三日縣艦廠屯海掛中のさころ二十三日縣艦廠屯海掛 河北省天津汗養順の百二十 發動機船が 遭難颠覆 五名行方不

よつて新造される車輌は機械 感受用は消耗々道工場で新造するの験類を獲得したが、この像 高級用のみ新造する第で、かつ高いのうち車輌新造設さして八百 等車新造に試験を置き、機職車は、電車新造は高速度運転以外は三

車輛新造費八百萬圓を投じ

る滿鐵列車

戦闘をやつさ作ったが、こ

事變從事の

明秋から全線に新車を運轉

局速度旅客列車の

なは今回の織道部の機関車新造 電役會議の特別決議を得て九月下 でで、 13 では、 13 である

內藤博士

軍人に難してはその從事し に一十三日軍令を以つて布 をした

聯盟から早大排撃

慶應々援部の聲明書

【東京二十三日登岐通』陸等は今回の淅州事態に開始を後期の淅州事態に開始を終する。

二週間の休暇

ける歸國

駕淵博士と

にって困らさせられるのは一々歌 きやしないかさいふ脈でやつさ考! きやしないかさいふ脈でやつさ考!

臨時委員會を組織

出紀はるびん丸で瞬回の途について出席中であつた内臓器関連十三日

助を探る像定である 助が行はれるが試験前一人々々指 のでなる像でである

東京二十三川養岡通 環境を引歩げた原願くど願談に関が計に東原製を開業を受けているに沙氏から窓に構た乗うりませいるに沙氏から窓に構た乗うりませいるにから窓に構た乗うけばれるに、シスを表します。

滿洲美術家の

は 目むなきに至り今日まで織けて本味のためで天瀬丸の天津、芝罘、芸術総算献を一時中止するの味のためで天瀬丸の天津、芝罘、藍県 びに日管熊尾等より出傷を見なか たが、最近日支間の空無戦大好 大連汽船では支那における抗 海航路を復活 大汽の天津上

廿五・廿六・廿七・三日間 於商工會議所会員

行流

袋帶三名古屋帶

自轉車を盗む 精朝終平安北道、世下住所不定 八月就職のため來連

お待たせ致しました

の餘技

OCTOBER 大十月廿四日 旧九月六日

浪華洋行一 らないお方様は今す 「大臓ザラ つお出掛け下さい 大連名物 一ぺんも御來店下さ 年一回の 』にまだ

浪速町の

電話(代表)五一

あご二日限り

博多織陳列會

元 屋

全部満鐵の手で造る

にまで養成せしめ早大に置ることにまで養成せしめ早大に置かて除った後にまかり野球部野浜駅を開催していり野球部の大きにより野球部の大きにより野球部の大きにより野球があることにまで養成がある。

四作品を買上

早大應援部の聲明書

に新した末九月十四日に 職東職権 機びこれに味を占めて頭に山 職海 関係合前で自修戦一 圏 を営んで書 では、これに味を占めて頭に山 職海

金庫破り犯人 態度を糺弾する

等の 競演!

マンス (日本)

徹底的

在

庫

品大處分

責任ある優異品のみの費出し……

○子別れ笠 ※ 青柳龍太郎

「漸微な人事人でも、機

指者の兄さ

云はわめだ。どう

のか

樂館の片手は伸びて、いつの間をかり

輸入した。同

って、激ひ踏かつくつてくれたさって、激ひ踏かつくつて、われなる壁を切って、おれなる壁を切っています。

速度をいたして居ります」

経識界の重能さ

おぼえのない事でござんす」

洋琴獨奏會

7

廿五日のプログラム

6 勝着の女房ちやしい、女

がた暖みつけた。 五郎兵衛

おぎんの重要を打御す気限のこけ

る満術音樂館大連流線改成供業部 を集めてるる館でのプログラムはドの洋季家フリードマン氏を巡へ 館館にて際際、 音楽変統論の注目を称さして知られてゐるボーラン 々来る二十五日午後七時から臨和世界洋季飛の巨匠でショパンの艦 地際、本社後継の洋電振奏館に庭

世二日日

二日間

品價特格

==

洗湯庖酒御二

· ラ栗亜栗宝

類器

火身

臺 相

報門光三郎主演

B

浦

線なさざろかした。その時、二人

太郎が、ホッと高島をついて、壁際で始終をのぞいたおこのさ

の補を一様につかんで

信ららいほご滞付いた

勞農映畵輸入

おぎん、少しは無分がなほった



蘆江

作

(237)

三人を焼き続してすかぞっそれで、次郎によっては、おぎんもろさも

本場大島

山竜郷

島

屋

指者で其方さ二人な一緒に、

あるこへ しやがんで、 瞬き込ん 商ぶの家の灯りが、壁の切穴な 壁の通以路 CID

れたさころで、お銭が坐つてるる数で、数支高になった五郎兵衛の数で、数支高になった五郎兵衛の数で、数支高になった五郎兵衛の んで、向ふの部屋のなりゆきをおこのさ金太郎は、その鑑しや 展。 遭ひつくばつた 繋寄を引起し も 持つて 来たのは、おぼえの際 したが 実施能におしてめた。 が療味を打つてやる。網絡の女房れた迷縁らや。父に代つて、網番れた迷縁らや。父に代つて、網番 「もはや間答無用、おかり

同二、栗春五平泉本郷

を を を を を 高々さふりかぶつた。 を を が、 突然齢を あげた。 におれしが打つてや 「重太郎」さ呼んだ。 し是非に及ばね。さめ五郎長衛、 を事は、難だ以て迷惑だが、それ

危切穴

「共方は先嫁から一記

く踏みさいまつた

慇懃の二人は、

かすかな返事だら

の郷蔵の成版、なぜしないのだ」
東京、院手をふりあげたまとで、歴代見信子・水久保澄子が付けたが、「原太郎」と呼んだ。「原太郎」と呼んだ。「原太郎」と呼んだ。「原太郎」と呼んだ。「原太郎」と呼んだ。 大手をふり上げた紫癬の縦を 武力を一つかんで初つた郷蔵には、大きが態はつて来るが、手をは、またれて飛んだ郷壁が五郎兵衛の手から 林長二郎二役主演映書 中につかんで初つた郷蔵には、 後援・朝日舎新聞店 後援・朝日舎新聞店 後援・朝日舎新聞店

オール・サウンド版

本日の豪芸

を伏して御顧以申上は何卒本場大島紬同様にピクターコロムビア

上げます 大きに居一層の御愛顧御引立あらん ではますが、ボッドール各社警音器 ※

敬ん 並 白事 に

大連市伊勢町八六分孫經

大島屋 鮫

島

電話七〇

旅店

女さ一様に死れ

左御上 酷 記得 げ様

大島屋蓋音器部開設

子澄木鈴·德璃嵐 演主 郎太玉川市

更に最近レニングラードのソユー 「呼呼間畫」「アドナー」等か倫 入して何れもほ下樹脚中であるが 輪入一手脱鬱艦を無限した数一本 るが、ソウエート映画の日本への を対して正に映画シーズンであ 家たるソスタコフウイツチ氏で監修に有名な評年天才音樂家で修成 「ズラテウイエ・ゴルイ」(賞金 の日本への **對黑暗** 世臨君に界畫映年往

的四 洋

服

でサービス 前一

丁ケ弊店は

大連市党部 一番地震

特的店外連市棚町 中村景太郎 秋 空高し ピクニッ ク 1=

津服店 京田 年 上 平 洲 頭痛 り 条式 ス両直 イラ出 ボン出 京

電長22195·座銀連太 THE PRESENT 發



標として新しく發賣された時計機械は瑞西、正確と堅牢とを目 用 ヤ時 計

寶販手一洲滿 大連 新京 **添天**

0

商品は優良品を選み絕對の責任を他店より高い品を責らぬ事

信條

最新 「「蕎美術品とも中すべき逸品のみ多数荷着是非御用命」とて機関の妙、組織の壁化、築繊業者の源ぐまとい髪が流行品を今回は特に整雲に取り揃へまとた、何れる

揃

廿九日マデ 品格破 ござぬます、御用命御願申上ます特に今回は十月中旬冬物第二回上京仕入したる 特別泰仕品で低値段で最善のサービスに一同異常の 努力を排つてぬます、奥服専門店として必ず皆様の 御期待に添ふべく優良商品を最 访男古綾ペパ伽ハ 助被 糸ス ス ス 間長兵 友 ス ス 福古 男 仙 紙 小 服件常物 丈 地 召 教

金巾裏地 白ネール 白 タ特ビ別 提供品 一支(一九) 十五段

市連

(中四 H は賣出準備に付休業) 一四三六天

現

金

膏·返

品·返金

自

廿五日ョ せす 鈴

他店より高い品は御注意を御願申上げすべき事 お信條を弊店の鐵則とし以て商賣報恩

高級吳服物最新 機用 着羽 尺羽

種樣 軸召帶

マグネサ

ト礦と遼河

九ヶ月

安東

輸出豆粕

野地は次の如し

三五、八九二

満洲中銀増資か

總裁渡日の用件

專らそのためご噂さる

前月對二百隻增加

隻

金大旅

州連順

10人 11751元 10人 17617至31 11日 17502 11日 17502 11日 17502

和の健院が監査せざる結果、海房 をては根密の質注文があるが、豆 をては根密の質注文があるが、豆。 をては根密の質注文があるが、豆。

日

關東州入港船舶

九月中成績

依然似止た織け、現在探楽中の油

共益を目指し

府縣駐在員協會成立

ても支那南洋その他の市一の除郷に梁原出来の人ば印度市場への輸出減一新くて大統統が午整管での操統等

一、現實に九月の絵出が減退した こさ

シムラ倉商の見透しがつかわ

操短率問題で

据置、緩和兩論對峙

紡績聯合會近く協議會開催

補い得る事

置論者は中小紡績食配でその論

採算不引合で

操業油房僅々數軒

會商

期間

問

会でも去る二十一日山脈組合設名 ・でも去る二十一日山脈組合設より ・ 説が、またまた清洲書籍総論観組 ・ 方な鵬原数路に脱憾した ・ 歌変格に及ぼす終瞭の歌大性を力 ・ 歌変格に及ぼす終瞭の歌大性を力

滿洲市場紹介

展覽會日取決定

福井外全國九都市で

兩議長歸連で

愈收拾に着手

市場問題で

▲開催地

印度側の要望に對し

日本は慎重は考慮研究

1、07年、日本

前計魏警金大旅 前 子剛 月 高店州連順▲ 月 帆• 合飼料組合と

書籍組合 見せるさいふ主旨のもさに左記の如く内地に於て展覧館を開催する

明井(十月三十日) ▲金澤(十一月二日) ▲富川(同三日) ▲ 新潟(同四日) ▲東京(七、八新潟(同四日) ▲横濱(同十二日) ▲柳 岡(同十四日) ▲名古賦(同十小二十八、七日) ▲大阪(同十九、二十十十日)

ら前期同様年五分の

配盤を行った

廿二日

特產一

質奔騰

て満洲中銀が 除止難策さら

一手萬田を

降雪と

痛懸念

▲見本商品

株山明け二十三二

てるない構成である

た王土樂業の湍洲國が出現しよ

「京城後」朝鮮運送賞社の今期株 朝鮮運送會社

粕相場の崩落が主因

税收減少を考慮

満洲國相續稅を制

大同四年から實施豫定

資本金百萬圓で

滿洲皮革會社設立計

軍隊用防寒毛皮製造が目的

前七時四十分大演 時四十五分納州等 本二十 で開発第二十十分大演

奥地天候不良に 豆暴騰

綿糸保合

日本水産會社 を全て、同地銀両の工場地區に を全て、同地銀両の工場地區 で大阪に本社を有する資本を自然 の日本水東食社では今度を天本で 同地銀両の工場地區 であるさ

豆 1110 110

株(保合)

金票(現物10年公金票)

大豆三八二六車 本門豆粕一八七千枚 三八二六車 本門三車 本門三車 本門三車 本門の首権 三〇

秦 秦 秦 秦 東 東 東 地 地

20 100000 100000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 100000 10000 10000 10000 10000 10000 10000 100000 10000 10000 1000

野形交換高(中三日) 金 「「芸枚 与、犬类、男人間

据置に 硫安建

決値は

公債株式電物問屋 大連株式取引人 大連株式取引人 机京支店 電話長二三四九番 振替口座大連五九〇四番 話 (長五四七二番 唇后

大石橋より営口

(1)

職僚の日本に對し地食問所無談のほであると
「新京電話」 淄州中央銀行機裁祭 厚氏は来る 二十五日 大連

一 大時大福橋につく。倉(城地方事務所) 「最ら大福橋官成および現地説明の 最ら大福橋官成および現地説明の 最ら大福橋官成および現地説明の が表する。 一 大連よ

戦大、射温とかに が大、射温とかに で脈ば城市り。を を 学をさられるためりざく 大連よ で 戦の出迎へた受け、摩睺にて 満級との大取に分乗して 部型工場に 戦り、それより二、四 に、 選録等 く間の 職な かり 下げ、 とか 今日は やめて あるさい ふだけ に、 選録等 く間の 職な かり 下げ、 から は た 方面 は に 航 な の 概 は に 航 な の 概 は に 航 な の 概 は に 航 な の 概 は に 航 な が な と な で い ふ だ け に 、 選録等 く 間の 職 な かり 下げ 、 から に 航 な かり 下げ 、 から に 航 な から に 航 な から に 航 な から に 航 な から に い い ら に い い ら に い ら に い い ら に い い ら に い い ら に い い ら に い ら に い い ら に い ら に い い ら に

人もあり、満洲の秋の野外散歩め

名は喧しいが賞物は満洲致寒館で 新管技師が指示しながら説明する 鬼に程度の人が大部分だらう。そ れた我ら一行十三名さ大石橋宮成 十名が心長周に置歩線がて破跡に であったが、火山岩噴出 であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出であったが、火山岩噴出である。 ころを除けている。 ころを除りている。 ころを除けている。 ころを除りている。 ころを除けている。 ころを除りには、 ころを除けている。 ころを除けている。 ころを除りている。 ころを除りている。 ころを除りている。 ころを除りている。 ころを除りには、 ころを除り、 ころを除りには、 ころを除りには、 ころを除りには、 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りている。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りている。 ころを除りている。 ころを除りないる。 ころを除りている。 ころを除りている。 ころを除りている。 こんを除りている。 ころを除りている。 ころを除りている。 こんを除りている。 ころを除りている。 ころを作りにないる。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを除りまする。 ころを作りにないる。 ころをいる。 こんをいる。 こんをいる。 ころをいる。 こんをいる。 こんをいる。 ころをいる。 こんをいる。 に なは窓にボーに動紋を送し、時間 開作課 黒冷むし (大きな) に 大きな (大きな) に からな (

電信電話會社

井上部長巡回

| 「単位 枚) (単位 枚) (単位 枚) (単位 枚) (単位 枚)) (単位 枚) (単位 枚)) (単位 枚) (単位 枚) (単位 枚)) (単位 枚) (単位 处) (单位 处) (单位

福 1110

廿三日北公開

好男子異狀かりなる・大関性量主義

旅順支店 旅順**著**第号六二鲜銀

等は微調を始め農相、拓相を始め農相、拓相の動脈があり、

政友會 は満動態度の標

最談本部窓を提げて管理を辿りう 一般瞬間さしての吸能代表に依る窓

陣容を整理する必要に

宛ら亂軍の各派主張

壽命を卜はる、

現内閣

新京爆撃計

畫說

支那紙の挑發的虚報

撫寧城匪包圍

0

ソ聯當局躍起となつて否認

大本營に入御遊ばさる

あらせられて総監部職民権である。 幸運都下製商さいふ盛まれた陸下には海少数の間も

を別、事連者十割漢さいな盛 を別、事連者十割漢さいな盛 を別、事連者十割漢さいな盛

0

押賣、排擊

ナ

チス突撃隊の集會に臨み

ヒットラー獨首相强調

教練製リー大神が実験をとない。 カカラ県来か送られ次いて実験は

であるが異なかへせばが

め属子の如く会議所に撤送の委任

まっぱいのシステム採用

途語

電安話東

は支那に魅する前端、四種に着平したが、支那側記者には支那に魅する前端、四種に着平したが、支那側記者にウエートを密如何と 原宗氏等十四名を遊へ廿二十年後

ウエート全盛如何さ

は智政司長学松原、蒙蔵會参事孔

那政府當局大汗

鐵道部を獨立會社

| 本子二十三日養園道] 内蒙龍海一のため北上した内談部最近經搬民 黄内政部長を派遣

内蒙の政情調

左の如く謎る 今次北上の目的は大唱 一、過去及び現在における系級 開省各縣及び各盟旅等の政治 情況の調査 二、同じく經濟情況の調査 一、同じく經濟情況の調査

併し満鐵解體ではな

位 運動器在の間かなった。 川安東航政局事務 一である特務部参謀

頭して満鐵、附屬地等に関する諸問題につき次の如く述べたり戲く民間の窓際で意見を愛観したが満洲に非常な願心を持ち我々の意見に覚成してくれた事は非常にう務官宅を訪ねたが往訪の記者に要點に觸るくことを避けて語る、「東京に多謀沼田中佐は二十三日午後四時十五分着急行で來安直ちに義兄の井戸公本的機構改造の關東軍特務部案を提げて中央部と折衝注視の的となっ

92

の新疆

四に同氏は二十二日南京な出鉄し、地の一大の茶台南に起き地でて総織のって先つ茶台南に起き地でて総織のた。 東京な出鉄し、東京な出鉄の大地鉄の第一大地鉄の第一大地鉄の第一大地鉄の第一大地鉄の第一大地鉄の 他の爆動によるもの

名目的宗主權保持に

上海ソ聯 領事館再開 坂西中将

野京した坂西利八郎氏は左の如き 報告をなした

総長で 地支の演
のなした を は立るではゆかないが供 ではるであらう、従って忠 にて満洲國さ支那さの経衛 にで南京政府並びに個長気 を ではるであらう、従って北 ではるであらう、従って北 ではるであらう、従って北 ではるであらう、従って北 ではるであらう、従って北 ではるであらう、従って北 ではるではま常に個長気 があがといた傷を情軟に かあいとか信が供

上業ス r の合流懸念

の前途を暗くしてゐるが なここにより裏を物質を 性復歸を目指すこと たもので四十八州中 たもので四十八州中 「東京特電二十三日駅」アメ 中九年より五十六% 家の負債總額は百二 ための減産家債格調節選等が がある。 燃果少く農家の不況は依然で施しアメリカ農業の大宗に 4 8 一下メリカ經濟恐慌にだら打解を受けたらのは影響、三十二年の農業總收入は二十、6、減を示し作付面積の増加に拘らが大変を整備で変異に使って数るそれで影影響の衝撃を引いてあるそれで影影響の衝撃を引いてあるそれで影影響の衝撃をして影響が顕著されて対した。これに静戦を変えて影影響のインフレ政策を見合せ弗の回復を機會に變態の金本位とが明らかとなった政策をきることを聯挙したころ政府は金融資本とである。から歌に影響は大総領が金融恐慌後の欧界線跡を徹底領のインフレ政策に使って終いたる、大の減を示したのぼってあるそれで影影響の衝線が一九一四年のレベルに引よぐるとが明らかとなったので農民の安津が最近にできることを帰ばしたころ政府は金融資本とである。とが明らかとなったので農民がピネストに加はり、総称が継来の聴撃後、州中の二十五州二百萬の農民がピネストに加はり、総称が継来の聴撃後、中であり、大の減を示した。 歌大共鳴着な歌加ら一方工業方面の罷業と相俟つて政府の復興政策 迷腑朦朧を甦へての際五億弗の資金をふり撒いてこれを鎮撫しや け郷や突焼をなすで熟酔いてゐる、これに對し政府は狼狽して鱷に無轍せる フレ政策をこるまでは緊牽網を市場に出きす砂金及び負債利子は支援はす耕地は返還せず

大統領放送

あらうと豫想される 現内閣の壽命長くない ことを見越す次の政権 への策動と各政黨の惱 を見越す次の政権

首相大演習陪觀

の計畫な滅滅の光輝ある際史間り最後に「現在進行しつ」

を さ事並びに戦府が必要の場合市場 に於いて金の課費を行びる輪級止 に於いて金の課費を行びる輪級止 に続いて金の課費を行びる輪級止 に続いて金の課費を行びる輪級止 大概職の職談要旨左の通り 大概職の職談要旨左の通り ひ たい ル

保安隊、反撃さる 皇軍逐に省境に出動

青低部隊も二十二日から行動を際一 始した

綿布と雑貨 併行的に協議 近く専門委員會開 3

弓張嶺運礦鐵道

ガギで申込めば

大地震 は江西及 職立の 大地東 に 地大 を で か に 地大 る と が 下 さ れ る し の た め 単 が に は 三 ケ 年 の 日 、 西 三 十 三 帽 の 戦 が に は こ ケ 年 の 日 大 東 町 の 東 東 に 数 で な た が 最 が 下 さ れ る し の さ か 数 が 十 点 に 及 な 職 数 で で な た が 最 が で さ に 数 か で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な た が 最 が で で な な た が 最 が で で な な た が 最 が で で な な た が 最 が で で な な た が 最 が で な た か ま か ら 見 で は 数 な な な か ま か ら 見 で は 数 な な な か ら 見 で は 数 な な な か ら 見 で は 数 な な な か ら ま な で は は は し か ら 見 で は 数 な な な な か ら と 共匪總攻擊令 三 日 間 商工會議所 多博的筑

.

商業學力檢定試驗

働きながら勉學し實力縱横の士となれを背景とした日本一の講師の顔ぶれ!を拓く理想的の講義錄が出た。「商店界」望せし、成功の實力を養成し、出世の道望せし、成功の實力を養成し、出世の道来れ!商業青少年諸君!諸君が多年渴 の道 か 開

に本づき、更に亞維亞大陸の一

5 ことは、この総だけが持つ特権で、れの和実際があったは、事態前の吉抗線で、今見る吉政線、から見に関係しての際めである、保し、本政教は可修得る所で、事態前の吉抗線で、今見る吉政線、から見に関係しての際めである、保し、本政教は可修得る所では、事態前の古抗線で、今見る吉政線、から場所を設めてあったが、事態前におけ、カリ内部を設める。数台間、独立の自己を介える。 現られない、事故にといる。 東島前におけ、カリ内部を設める。 数台間、本文教は「中央・大学」とは、「中、大学」とは、「中央・大学」とは、「中央・大学」とは、「中、大学」は、「中、大学」とは、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」とは、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」とは、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学、「中、大学」は、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中、大学、「中

の鋒を飾らせて居たであらう

直通列車試乘記

.

その他、京國線から飲乗の招待一 を受けた地元紙の新京日を松本 新京日報箱田、大浦豪音峰、大 耐製山口の諸氏に案内役ともて 市丸局員

警備完全に絕對安全鐵道

派員

自然の富瀬に順應した進歩

過去の一世紀間に世界の歴

学和の一大職長され

とが為にざれだけ民族の相互

日静は勿論、境をこの地に接て

ある関係上 移管後も

依然戦争に感じ

無用の闘争が繰返され、済洲

東洋の隣邦に不断の暴を奥

難いかも知れの。率然吾人の概

大 流線は対象 一回評論以前は来る 最終に対象に重視に 二十七、八麻日午前十時から 線和 ちゅう できれてぬる 監は「社会網) ・支出も相當に多役の 最後には下中央方蔵で盛んに総議 できてもる されてぬる 清縄吹返で駆しに職者 ないため、ことは まれてぬる 清縄吹返に駆する この役銭食の意味で終れません。

1 日午後三時より時餘に配って行は 一部所観を披露して線解を求めたのに が所観の通りであるが著月訓練 一般に成立しての見しての見しての見しています。 一般に成立しての見しての見しています。 一般に成立しての見しています。 一般に成立しての見しています。 一般になっています。 一般に成立しての見しています。 一般になっています。 一般になっていまな。 一般になっていな。 一ないな。

有する文化の淵源は實に深り

々の原因で中絶ら解滅して生な水いここであつたが、その後種

北票炭滿洲進入

支那政府ご

支票の形勢を作

大連汽船會社

大連市内は賣行

新し外院候職被な監察し国院報宗 しき観察だった支船政権の外院域 を対して支船政権の外院域 がフェンケ根)献課問題は が、質察報節に である。

ンプ税未實施

に資せん

解散に差支へなきや否やな順章 いっぱんことな情報したるため行

れて居た。

盛衰順亡の徑路け

今や滿洲國新たに獨立の國體

日

つたが、この進路の第一歩を知

外はない。所謂温故知新の最も地自體の史跡を綜れて策定する

改造問題を審議

待遇問題は上程せず

滿鐵社員會評議員會

要生した政治的経濟的事相の如 で、随つて近時この地か中心に は、以後に取扱ばれて居

獨立會計收支は

頗る複雑

になる

満鐵の營業收支豫算

東藤を残れて、結局は神光型は 東面において一定の金額を計上し 東面において一定の金額を計上し 東面において一定の金額を計上し を動しにするより外仕方あるよい さ見られてある、いづれにせよれ に移った艶額のみならで連載を計上し 地でるので建築総成と個数を計 なかった数多の取扱上の範間が緻 なかった数多の取扱上の範間が緻 を持てるので建築をは、一次の金額を計上し を持てるので建築を対象と、いづれにせよれ の出するので建築を対象と、いづれにせよれ を持ている。 を持ている。 を表れない模様である。 を表れない模様である。

非常に好いこさだ。就中この

の協力に依つて補洲國文化

處、目下の世相が事毎に爭

のである。殊に會その者

滿鐵佛

財團合作

對滿投資問題

事業の對象を何處に求むる

山崎滿鐵理事奔走

画斯外の順學者宿であつて、

社

說

ンスの閉光が、歐洲で近果での

影響な傳播させ、名に於て獨立 り注意されて居なかっただけ大

二十世紀以來、歐洲文明の中心 は世界大にその新心い轉向先き な求めて居たさいへる。それほ たが、満洲國の出現に依つて登榜通洲に重要な関係か繋いて居 た。同時に過去三十年間直接間太平洋さその漸爆諸地域さなつ 々遺間の必然性は明確にな

事件に忙殺されて居るが、そ

であるが、國際問題の活舞臺は度に促進させたものは歐洲大戦

語る。それは常設浦洲國は菅ふに及ばず、善隣日本の誠意と實に及ばず、善隣日本の誠意と實力さか 繋弾すべき 試練であつ 何にして質にさるべきかか、鋭化せられた鬼股の像薬が何時如

座席の整理

部分迷惑を乗りついわる問題を

を車く掌が架客の祭母否坐席の祭母を車く掌が架客の祭母否坐席の祭母を発達して欲といる思ふ。 祭職家者の實性だと思ふ、殊に祭願家者の實性だと思ふ、殊に祭職家者の實性だと思ふ、殊に祭職の子供を三人も連れて 発の製さんが様常に楽山のるが 他等の製さんが様常に楽山のるが

常の整理が行は

車は充分に座

車の野草や四壁の汚れ方は内地の野草や四壁の汚れ方は内地の野草や四壁の形れ方は内地

のである。

局者の無能な叫び度い

平内の清潔を

生家

内地變らず

市

况(土土)

當市保合

の知き敗塵な

造すべく取職者に職命を下して

◆然るにこれを整理する事なくし て只能に「漢ン中の方へ御話合 ◆では何にもならない。

東東の客に野

知らんが単独

ので本問題も藍分質現せのことと

かた手場がネチー~さ附いて居 るのは無味が悪い。 るのは無味が悪い。

ボグラ領車

突如更迭發表

柄述•

寛東車の子供

でする事なき場め多数の彩客が 今日途系統成在して製物域を皆 今日途系統成在して製物域を皆 のではまたそれよりも満電が ながればまたそれよりも満電が

・様食社へ要望の件」

百利洋

行進出

接し近山中に階朝することとなりを知るスクワ政府より召喚命令にでかれてスクワ政府より召喚命令に

作本乙三の解氏な

旺盛に 豆 反

・更添を見るに至つたものさ見られ 関交でデリーケートな揺除今回の 関交でデリーケートな揺除今回の

オー・ブル

◆また一人で無限

に横々で座席を

膝の上に乗せる

瀬本の三流 の三流

四、昭和八年度社員會更正瞭算の中(幹事會)

第外四名)

輸組

規定緩和要望

庵谷奉天商議會

頭 談

質がなくさもこの低金

るものが独見され得るか何うかに多少の疑問を有も實際的見地から推してあまり最親して居らの模様のあったが、政府属さしてもフランスの黙清投資問題に避び得るか何うか、又滿洲園の現狀に照じてフランスの眩眩代表が契約案を持つて韓國する場合、果して際政府方面では歐洲最近の政憾から見てフランスの眩眩代表が契約案を持つて韓國する場合、果して際政府方面では歐洲最近の政憾から見てフランスの眩眩代表が契約案を持つて韓國する場合、果して際政府方面では歐洲最近の政憾から見てフランスの眩眩代表が契約案を持つて韓國する場合、果して「東京特體二十三日韓」フランスの黙清投資問題に關して上京甲の山崎清晰理事に抵勢役其他に黙し、東京特體二十三日韓」フランスの黙清投資問題に關して上京甲の山崎清晰理事に抵勢役其他に黙し、東京特體二十三日韓」フランスの黙清投資問題に關して上京甲の山崎清晰理事に抵勢役其他に黙して東京特體二十三日韓」フランスの黙清投資問題に関して上京甲の山崎清晰理事に抵勢役其他に黙し

以外の一般死亡社 在編邦商牧派の大 変金二百五十萬風 変金二百五十萬風

対けを開始

殿を歴訪

協力誓約ご交換に

『斡旋料』を出す

若月副議長等の意見

01111 二五〇

一海標金安

鈔票强保合

長崎直 四日

山西丸

の强

大豆(探物)八十

一十二日南京より飛行機で午後三【英口廿二日登園通】杉村公使は

本徳領事館に入った

杉村公使漢口

期(単位十銭)

綿業好調は今が絶頂

日石は増配据置か ム募集の 合同州脂 何時か

the Taste Joy of 界各國酒 ブ ルジュー 各 地名産 スパ 放

! ピンコ名の彦時田嗣・子かた江入 よ君よれか泣に命運の也信ご子海南 館樂映■切封日五廿騰 かと つける

麻袋期近高

綿糸不變

つるさる一数

東東 不完寫真

久サ聖 时湿丁 五泉目 五族目 電電電 で 三四九三三 〇七五三八 /四四章 古

銘酒桐正宗(內地酒)

たばた

添木日本

若し私が酵类大人だつたさした ち取合博士が夫らしい態度をさ ちなかつたさいつても、もつさ 他に生きる道を選んだらうさ思 ひまずわ」千代子夫人は仰言る のです

な 合い理解と合はふさいふ勢力がな 合い理解と合はふさいなりがないにはり してはないないないなりがいたはり

りまて、私と慰女が職日交代で炊いたのふさんは各自チャンさんは各自チャンさ

るくのび~~ さ幸橋に育ちまずし うさはしないでせうも子供等も明っさはしないでせうも子供等も明

が、 では、 できるというない。 の仕事さいふものは随な短続で多いの仕事さいふものは随な短続で多いない。 現在の日本ではお帰りますまい。 現在の日本ではお帰ります。

子たちが花炭出して雌や門前のお子たちが花炭出して雌や門前のお

こし修設さした日本婦人でこで勝美夫人の事件は貞淑な籍

をすること。唯愛するだけでは光 分でありません。夫をよく理解することを

長女と交代で炊事

前夜に翌日のプロをつくる

代 連婦人會 表

奥田千代子夫人

毎日その前後から数 しての前後から数

勢力してかります。

銀よく仕事な片附けませんとなか中か使つてるませんのでよほご野中か使つてるませんのでよほご野

またのしみな日ですから婦人食の 書たのしみな日ですから婦人食の

かく〜ダンスやシネマに遊び廻るかく〜ダンスやシネマに遊びます、私の家では五人の子供と私地夫嶋さ都合七人の家族でこざいますが女

をなって、土曜、日曜はみんなの一 の前にかへつてぬて子供等にきび しい思いかさせいやうにさ考へて もます、土曜、日曜はみんなの一

きで、いくら子供がないさい

りるます。それでも三時頃には子ら婦人會の用事や説物に出かけた

奥さま教育讀本

にほせんご苦痛を感じない程度に

炎症 などがあって、平生

・一年であつた波蘭のクラコウに (明治十五年) 常時オーストリフリードマン氏は、一八八二年

時からピアノの程古な始めた。で生れた。父は音樂家で五歳の近いボドコルツエミ云ふ小都會

は事によって早くその病原な治す を受けて服養、性射等の聚焦的療 、性利等の聚焦的療

大きな敬獲さいふべきでせう。

界にさつては昨年九月来蔵した湿気家デムパリスト氏以来のはいよく、明二十五日大連臨和倉館で賦儲されます。大連樂

性の概動から来てゐるのです。こ

れ等の解象は寒さに向って増悪し

清瀬音樂會完催、本社後援の洋学家フリ

〜明二十五日大連臨和倉館で開館されます。大連樂舎指館、本社後援の岸景家フリードマン氏の蔵教會

樂界の大きな收穫

痛みを感じたりするのは

病

原因

八科方面の障害

慢性で平生苦痛を感じない

る婦人方を多く見受けます。 ごういふ魔者が必要でせうにいふ「冷込み」で離後す。 ごんな病薬でせうか? 又にいふ「冷込み」といふのは

郎氏のおはならを何ひませか? 岩男警院長岩男共二

岩男醫院長岩男共二

岩男其二郎さんのおはなし

冷込み。はどんな病氣か!?

日

最時間さらされした時に手足がつい日に外を振いたり寒いさころにな網無ではありません、ひごく寒 な網無ではありません、ひごく寒

を覧えるのです。この 不愉快な ではつて人並以上に悪きを感じ音解 なって人並以上に悪きを感じ音解 です。この 不愉快な 「冷込み」をなほすにはなるべく を覧えるのです。この 不愉快な

乳のシミ乳のシーはペン

家庭重實帖

洋琴

の巨匠

フリ

マン

百貨店ニユース

院季大手合戰譜第三回

先相先先否三段 中村男太郎 斯 茜去夫古

五六七

凡

能 ◆…土曜日 なんて現金なん 調 ▲ 本書の大特費會 本書の大特費會 本書の大特費會 本書の大特費會 本書の大特費會 本書の大学の特質大量出る 本書の大学品雑貨マーケット (三階5)計一日まで彩美教師物古 漢解析羽二重特質質出(二階)

-- [1]-

。 能に職べ、此處に統訳をさつたで一週間のその日その日を能率 所によって次のやうな事ないっ

事の能率は著るもく下ぬ 金曜日 ○能率は着るもく下落、一連。

慣れ一週の始めなれば氣も張り

◆: 月曜日 は前日の休養が ◆: 月曜日 は前日の休養が ◆…木曜日 少し我れて来ま

・ さころでをて奥探!あなたが 金宝教をなさいませ。 節ち土曜日の晩の賑やかな何 いち土曜日の晩の賑やかな何 いちません こころできて奥深・あなたが こころできて奥深・あなたが こころできて奥深・あなたが 番疲れます

て変れません。あきれたもの明日がお休みだと思ふのでい

のシマリさ白四、六のシマリさ を占めればそこに先着の効果が 維持されやうさいふ作戦でもた 自 八、十、十二等いづれも非離 のないさころでせう のないさころでせう のないさころでせう 自 黒十五さ入られるこさは見え すいてぬまずが十四は絶對です この手で(ヨ三)なぎに守つて も黒(ル四)の懸迫を被つては たまりません

ておろす時、かたいので閉口する
と手袋は一般の手級を綴め

ナン油で漏ら

ておろす時、かたいので関しておろす時、かたいので関してしばらくおくさ皮がのびに包入でしばらくおくさ皮がのびに包入でしばらくおくさ皮がのび 編物の秘訣 や糸縅物のとケッは部分縁を始めにもて見てその織型の大きさを知る事です。 一時がいく縁が、又は後にいく蹴かを知って、洋戯と同じやうに整めたれって、洋戯と同じやうに整めたがらないのです。 れ等の事に難しては彼の抱恤してさ云ふ事を考へてゐる、從ってこ は凡ゆる表現の手段が如何なる場

けで乾す

然能フリードマンの演奏を語か

回は八四

助の全説に配する切賞傷らざら感想を逃ぶ。 大衆の瞬心事。いま対象職一の単終養原氏自ら時 大将間の特向一世を素動し、財制の動向如何は全

界

THE PERSON

F

非常時アメリカき掘ふ人々

長谷川進

ン名士列傳・阿部眞之助

巨馬

文
那
を
征
服
す
る
者
・
波
多
野
乾

一應心得て聞くべきであらう。 東人書展 軍人郡総立して

連支部の秋季總會は來る二十五花機會(熊本尚利高女同窓會) 一十八日まで四日間大連市温速町一十八日まで四日間大連市温速町 花櫻會支部總會

九九七三 五五八· 三四角九 一二五· 馬歩成角 粮税步•

年前十時から代見機配水池(中央大統領所削下車)で関かれまずが会試験所削下車)で関かれまずが会 △△△△△·
□•七七二十•八七四 歩二八五•角 馬•成步飛歩•成角銀

文藝時評価が治の病し

正宗白鳥☆五相會議は成功

(編集) 東田 大郎

てよい

弟、夷美人

草☆ 証相會議と政黨を

マンは本質的に思索的の

連 JOAN 土居八段: 八五歩は早い、4 八五歩は早い、4

◇自由主義

の煩悶

が私の娘だったら

◆年後七時五十公 本職業紹介事項 本職業紹介事項 平手 先六段△ 特選新棋 山北孫三郎 暦本ルヒス市京東 番四三・原東番振 社論公央中 價定 錢十八

今藝 ◇滿甍移民は成功するか 家 部 0 落 無限のシー

必早慶戰 **◇**ライヒマ

◇ファシスト獨裁とデ 逍遙翁を語る 將來、內田繁 市島春城 和 木清三

◇アジア戦線に於ける日英印の對立◇太 平 洋 詹 議 の 論 戦 製鉄合局の批判 鶴見林前

を容がいた。 を容がいた。 を容がいた。 をできたがいた。 をできたがいた。 をできたがいたが、 ででは、 をできたが、 ででは、 をできたが、 ででは、 でがいた。 でいた人。 を責め、 では、 できなが、 のできなが、 のでが、 のでがが、 のでがが、 のでが、 のでが、 のでが、 のでが、 のでが、 のでが、 のでがが、 のでが、 のでが、 のでが、 のでがが、 のでが、 正德

或る部落の話 副 鄉 一文一ででは、一文一ででは、一文一ででは、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは 伊藤

夜

話場崎

説小

向 津田青楓

横尾惣三郎

歌彫琢を加へ、これ を「女の一生」を得 を「女の一生」を得 でを「女の一生」を得 でも、一生」を得 でも、一生」を得 でも、一生」を得 でも、一生」を得 でも、一生」を得 でも、一生」を得 でも、これ

少有三

(十一月三日發賣) 百五十枚道

定し中質し

の登成と見なかった。 東線の横りがあったり 東線の横りがあったり 東線の横りがあったり 大だった脚本

大連 振覧間が安くなって

一般認を通

日には日頭試験を行った、なほ應 を前九時より教育研究所で其の響い を前九時より教育研究所で其の響い には山頭試験を行び二十二日 には山頭試験を行び二十二日 には日頭試験を行び二十二日

に因んで苦心情酷のカ

では、一般など、子供男女を問はで観光 とた財 こってスッカリ聯ル総対の天無に悪 てるててるた。子供男女を問はで観光 てるててるた。そ は早速 とた財

奉天間(三九九、五軒)

面 一、大八〇一軒書りン四、二〇 安東 - 奉天間〇二七五、八軒) 一、五一〇一軒書りン四、二〇 一、大八〇一軒書りン四、二〇 一、大八〇一軒書りン四、二〇

(事天)常地の年甲行事で最も興のうち最も興味ないいたものなあ味を以て迎へられてゐる清潔學大けるさ左の通りである中寮のうち最も興味ないいたものなある。

醫大の寮祭

▲第七號室 男の中の男、若い娘 の心た離らす、見物人の八、九 までは 令嬢や お僕さんたち、 までは 令嬢や お僕さんたち、 までは 令嬢や お僕さんたち、 までは 今嬢や お僕さんたち、

観衆押しかけて賑ふ

日

(すべて一般に 以下各級品し大戦を振げる三次の如くなつてゐる

大連本線で安奉線の運賃比

凱旋驅逐隊員の

慰安會開催

一十二日旅順の盛況

(四)

警官減員防止

人の製に稼働しついわる住民の観

請願運動開始

安奉線の不安未解消

鷄冠山市民が中心に

吉敦

女奉線の運賃に

生異議あ

『幽紀出』 満洲の治安は今や略安 | 灰雕し塊ですら響線头の他語所 | 数が上できれたりき難し物をはって行はれ | 数の過数を来たすき | 数を来線では米だ新聞紙上に現れざ | 数の過数を来たすき | 数に入数ように要などを表現れては、これに不安未だ | 数の過数を来たすき | 数に入数また | なっるがに入数のではなりません。 | 数の過数を来たすき | 数に入数また | なっる数のではなりません。 | 数に入数を表した。 | 数に入数を表した。 | 数に対し、 | 数に対し、

大連港中心主義は最早無意義

政及び将来の情勢に鑑みて安東
政及び将来の情勢に鑑みて安東 更に 特束北線コ

要求する理由され 関の不合理性の撤壊を制護した制度がある。 製の出百瓩 二側〇一 製品百瓩 二側〇一 製品百瓩 二側〇一 製品百瓩 二、二五 一覧 四六五、一粁) 一元、二五 松晶百瓩 一三

高る珍理(数を呈し、次に大連、鑑問の運賃な比較すると 大連一般前(四七○、九軒) 小口接一級前(四七○、九軒) 小口接一級前(四七○、九軒) ・ 「日本」 ・ 「日本 ・ 「日本」 ・ 「日本 ・ では容易な業ではないので安東南 現在の運輸が業を歴史せんむるこ 見悟 と共通利割線に立つ

地職議で振振して無戦略に運動し まで目的の霊風に遭激す 一々遊戲してゐればそのない、又質際國際の地元

能すべく配計会管より要表しの米内山鰕事動連の意味を含めの米内山鰕事動連の意味を含めるさころを見せて遠東。

沿線住民の引下運動

半穩·海拉爾

7

飛ぶ中に

に澤拉爾」北郷護波問題に格み流り間の空氣服態が賑へられ今次のり間の空氣服態が賑へられ今次の所変を事件では日韓衝突をへ避け歴文書事件では日韓衝突をへ避け歴を書事件では日韓衝突をへ避け歴を表示を持続を選手暗しの違い。 のんびりした風景

本溪縣の

體

なった 家らの楽績を繋ぎ

をは湯山根で消熱症(はかっと) では湯山根で消熱症(はかっと) では湯山根で消熱症(はかっと) では湯山根で消熱症(はかっと) では湯山根で消熱症(はかっと) では湯山根で消熱症(はいかっと) では過じない。 では過じない。 では過じない。 では過じない。 ではるい。 ではる。 ではる。

一大連市磐城町五八 南海営研製所 大連市磐城町五八 南海営研製所 大連市磐城町五八 南海営研製所 大連市磐城町五八 南海営研製所 受査、 工産町 三浦県 受査、 発掘・用 でする。 大連市磐城町五八 南海営研製所

食店全盛 复店全盛 奉天署に映る世相

窃取鐵 屑購入

一世界一の赤ちや

不用 品種切字では大人四一番 常徳町 だじえや電話 二五九五 日佐町 エピス 原電話 二二五九五 日佐町 エピス 原電話 二二五九五 日佐町 エピス 原電話 二二五九五 一番 高質質受 常 七四三五

出てゐる、

片 中書 邦文タイプライターの印書 邦文タイプライターの印書 邦文タイプライターの印書 邦文タイプライターの印書 邦文タイプライター 大連市大山道 小林又七支店

大正牧器 電七七七

苦節十年の都市計畫 大鞍山經營案の骨子 9

影響を修正して近代的都市部 ○現て地方事務所では今海製鋼

せるかがのさせ大概 であるとと大概 であるとはつ

は器の市御記載がもつけの戦いさであるが、これも者都十餘年全で

か行ふせいふに 性質が至はそ

ないった早くいふ は歌遊であるので は歌遊であるので は歌遊し方なき

● 東島谷汽船株式食能大連出場所 ・ 東船切得養資所 ・ デー・ 三四八二 ・ 一・ 三四八二

家政婦派遣

選多忙會員 至念 募集 誠心看護婦會主 養婆 三 洲 ガ チ 発館荷丁耳三四六 電話九二六六

性 理店 大阪商船 株式大連支店 大阪商船 株式大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番 · 育島上海了

强力治淋新藥

■ 日本郵船出 帜 | 日本郵船出 帜

中心

満日案内

● 二行回 金 八 拾 额 ● 二十行回 金 画面五拾额 ● 十行回 金 画面五拾额 ● 十行回 金 画面五拾额 ● 十行回 金 画面五拾额 金 六 十行 金 六 十分 金 六 拾 额 金 六 拾 额 金 六 拾 额 金 六 拾 额 金 六 拾 额

談會開く 日滿貿易懇

廿六日清津で

居る中に良く作用します。甘いから喜んでのみ、寝て

匙を與へて下さい。

せきを始めたら腰る前に一

百日咳の治療と豫防に専ら賞用さるが、亦同時に小兒に奥へいる

に廣く愛用されて居ります。

こな白粉

色

髓 五

肌

滿鐵土地貸下料

四平街でも引上

地方事務所料金決定

貞操を賣る

母と妻どを殺害

電燈切換

放送

作の回敷と治療口敷を減じて、餘病に與ふれば痙攣性咳嗽を緩和し、發 初期に與ふれば豫防に良く、進行中 併験の危險を阻止します。 加答兒期 百日咳 通常の日数 夢用の都合 干 1 一二週 八八週

『日本之醫罪』第二十総第二十九號に譲る = 六一一五週一三、六一七碗 一五週 一一三海 一、六一三湯

百日咳の流行期はこれからです。お子さんの『せき』に御用心下さい 輕く押える ほんの少量を 様に刷けば 格別の明るさ お化粧上りに いとついと ムラなくきれ チタニューム こな白粉 色鏡症 白

が消滅的良職合

一年前十一時より

二十三名の 選手参加

午後一時より

豫防にも治療にも

チミツシッ

三郎州店より送星す 田邊商店 著名樂店にあり

季節草履

の即用命は

岩山内履 短店

人連市浪速町三丁国・電五七一八番・

腰の縮少など――テラピアの早期應用は屢々切開虐置を發熱の減退、劇甚なる疼痛の緩和、使出液吸收による瞳 らその要を親すして炎症の自然的解剤が行はれる。 一五〇瓦、六〇〇瓦

営口の催し 患部に渗透して化濃菌の活動を減穀消炎するため筋炎 淋巴腺腫を「切らずに散らす」目的に最も賞用せらる。

弾道に勝る

化の農業に比べて惡くない

不熟腫物の消炎劑

五十枝(四日分)三圓州日分)

參天堂株式會社

今で云って今ー セキにも一ゼンソクにも しくし、呼吸を禁にする感性薬であります。 臓炎、肋膜炎等の、セキを止め、タンを徒り、壁を美が ない、筋膜炎等の、セキを止め、タンを徒り、壁を美

一百日咳にも

ূ

・・・・中央公園にて

調停に乘出す

司法關係に鑑識課

指紋法と共に施行

科學的犯罪捜査へ

機能に努めるこさになった

西内校長の

人連競馬の開催

小許可に決定

當局の新しい方針

切殿禁

北石文閣

大連市連鎖街鄉小路

高級支那級監 支那護、味品 支那美味品 等。

記念胸像

大連一中關係が

風説・・・早の應援團―

慶の選手合宿を襲ふ:

空氣極めて不穩

【同國語】 庭應天學體育會理非機 「傷者を出してこの儘には出來の 外明せる質傷者は二名だが今後

ある、この際早廃戦中点に関連し野球部には関連し野球部には関連し野球部には関連し

日

で耐大樹の反眼は一層突蛇化し 見たものであるから、間壁に必能のであると指摘した、此の壁明 を希部を打つて一丸さした組織を吹きを指摘した、此の壁明に対しな大な影響となってあると指摘した。 塵大の壁 慶大側では本月十一日産来の標準を対して変をを表し、塵大の壁を 慶大側では本月十一日産来の標準を対している。

慶の聲明は殊更

早を誹謗する!

ヘスト流行を機に

生機關の施設

日滿合辦の隔離病舎から

保健統轄機關まで

早大·反駁書發表

早大を除名せよ。

十三日安國通」県産業域一大さ今後試合を交へるた潔しさ - グ當局に提議す

慶の意見一致

層一方野球部の牧野主称で食見し

際の艦艦につき交都省山川艦青睐。 山川課長談

| 東京二十三十巻図道| 早暖暖送 □十日の場事會にて、既常の一十日の場事會にて、既常の前日た

度を見た上

リトグの態

社員の功勞を

表彰する目的

日本赤十字社副社長

德川圀順公爵來連

別車がホームに着く

米途事物の上告第三回公判は、二、「東京二十三日登員通」第日前場

上告公判

→□月二日中終了の豫定の並に賞品授奏式 三日午後

十三日午後一時半から大書院刑事十三日午後一時半から大書院刑事

是及西郷大連赤

一であった日本春十字社部社会 が信頼・総由来済、定東、新京 が信頼・総由来済、定東、新京

院操験作数は二十三日来明より前 名)死亡者戦に 一大名(旅客)

兩士官

香二十四名、WWE二十二

百二十一名中

間とて自下歌時中である。同歌巡 る五百名の阿賊が震楽し駆城を包 る五百名の阿賊が震楽し駆城を包 いまして自下歌時中である。同歌巡

数層通り遺跡の二

| 一時半既常養表に依る機数に並 | 十一時半既常養表に依る機数に遊 | 十一時三十分一先づ作数を打切 | 十一年三十分一先づ作数を打切 | 十一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名 | 一名、総数十七名

十一名(旅客十二名、船員九名)

七名)行方不明都二 人々に感動な奥へた

- 麻甲佐は鹿泉島から陸路神戸飛艇士電デリイボースト並にベ発艇士電デリイボースト並にベルルの夫支那線隊イーグル に耐中佐は選を受動の説明を受けれてある海泉等に向び触り果てた 変要さの悲しき野戯をならた、更新ななとなった。 店を訪問し内田支店長さ共にペリ 二十二日前戶餐酬帳前戶

論し午後四時半閉延した ネラ

金田で金田へ民はアスト

に勝る中の世界旅機器手 依然選手權保持

カルネラの保持する所なよう をはいますが、 かいれっぱ二十二日夜ス

來月中旬凱旋第十六驅逐隊

る様な単は細質にない。

即の只中で時間に救助も求められず困り果て

シュ製品の具備する

どを缺いてゐる。 優秀なる材質と性能

日本圖代圖店

イリス商會

會を乞ふ

東京市赤坂區荷地十五

ポッンユの局動情報とポッシュの點類装置

視こをボツシュ製品

引摘き走行せしめてゐる 有名なるマグネトー

モーターポート、自動車、及び

の安價なる模倣品を

御注意の上排撃され

市場に存在する無敷

設け

事に利用

測は完全になる

から北満氣象

青森鄉土映書 常總鄉上 大連署新主任 缺員中の

と父 松尾仙庵堂 電九四七八番

く、また満洲線や関連 る射機能機関に脱さた顔があるた。 軍事上非常に貢献す 福安良の職員を通り越し、純然た制を対するに完全を期 ンを埋じてゐるが、関東駅の意向 は一種吹良の職員を通り越し、純然たりは、大きないの間にセンセイショーは勿論ファンの間にセンセイショーは勿論ファンの間にセンセイショーは勿論ファンの間にセンセイショー 京、熱沙方館の軍隊に駆土戦略を十二日来選、本社に来訪したが新 方出身の諸川派遺軍時間のため

覵

安 建筑秘書の 情情脱その

収友だった唐部伯や長岡男 3

振がよく却でよく御嶋走してるな 版がよく却でよく御嶋走してるる版 〈軍縦を離れて鈴木に入り 遊かに羽

二日目成績

宣賞(四個六)二分二 十六百、七頭). 1 跨風

の明治部準説者花板党領は二十

主部大連園

明石(二副四)

菊花展覽會

明治節奉祝

六百、八頭)1 三

十二氏出版して深峰した信果。

あて、原郷都常本省 で不許可さなつた ので不許可さなつた

からる事態に低み、前便配りの不能可方針に出たものさ見られてぬ 外になるべく酔可せのやう緋殿油

目の前で戦死したのを介拠し

六州 十月 日日よ廿 五 間迄り日

訪問着、 振袖、裾模様、唐織丸帶京都一流の染織業者の代表的流行品して染織せ 今秋流行の染織品 田中屋奥服店に東る **愛織名古屋帯コート地** 錦紗友禪着尺

即清鑑即撰定の程をここいるとと言言で奉る秋晴の日中る人 幸先よき西年の秋 芽出度き脚盛儀

京解

御婚禮初度大賣出

数 対 三 県 大連市浪速男



が 一反 八明五十級より 一反 八明五十級より 一面四十級より 一面四十級より 一面四十級より

書へ家さいふば合で数ぞろひを食託が退けてから五人は、深川

既月の船た出

れんの歌

というという。 はなったがこつそりご出か

滿日俳壇 募集規 足

かご融媒を願いま

名月を待つ間の電車名月のとばも際れる法

してゐるのである。

名

月

湯田仙壇

た紙を一枚づく配布

平が三輪背の

出てみたいのだ

能なんかもうこの歳で出 へ級が落ちるでせう」

日

「あんなものに投書するつてさこ 「でも成績は二番だった」 人間は原始時代に通

「態はその低にあらずです」
・質問した。

軍甲

蟷螂の斧夫して

兄を振るのではやりされない。 兄を振るのではやりされない。 (20)

二郎

アパート住ひ(七)

(NX -

青空水

大連浪速町三丁目

具日用品の大亂資

温洋

菲行

一根眼科學

。於完

200

測量機裝圖用品

内田

なら

頭痛

は苦痛だ

ミト島下 ネヨ山内 サルグロー また こうしゅう

て居りま

.;.

湯:

9

時:

か

ら

花

王

JΩ

战

廿五日より五日間!

奉仕提供品の一部

岩倉獨特の大観賣日

- 雷部六七五二番

てに精選された花玉

輸は皮膚を刺戦す

純粹度九九・四分ま

ません

赤ちゃんの

る強烈な香料を使ひ

お肌にも様かに作用

く純良さを特長とし

性病 軟 梅 桂 末 病

帷

爽二

小羅倉紗 B穴医柳川 一上町の吉市連大 七大二三話電 麗山

本 風。良

呂がい 加。石。 减量 鹼



花玉石鹸の細か

医现代 名古殿 京 京 五 治淋劑の權威 内服範囲の作用 を必要ニュニーフズ批連製製物 機文 スペック は 機文 スペック は 機文 スペック は 機力 は が 人性性 プロ 症にコ

7-FX 7077 **諸南滿朔** 官**鐵**政 省道府軍

御 用 品品

商

會

4464 發賣元 一福·秋·東京·札幌

新京日本橋通七八 田 平 商行 電話ニロ三

≖店

夫連市伊勢町一〇一 美風堂營業所

HALL WALK OF THE STATE OF THE S

岩倉獨特の大衛賣日 廿五日より五日間!

念々廿五日午前九時より開催お待ち兼ねの年一回大職ざらへを

年中で一番安いお買物上手な皆様! 絶好のお買物時は

伊日 野炭式の開祖

フクロクス

非常時"獨逸"の姿®

したので情々した、これで先づ 実ぜられた五相音楽も漸く終了 大演習後非軸さればしないかさ

猶太人排斥理由

伯林政治大學教授

的地位を占めてゐる、こ

般の数を申しますさ、三

のため二十二十午後

水臓を消滅するであらうさみられ、米ソ後交突激しこの脈で延引するであらうさみられてぬると、関内的にはニラに反避せんさする態度、からうし、第三インターナショナルの行動はソ戦政権の難にならしなから対対である、関内的にはニラに反避せんさする態度人心の転換策さみられる、微能疾激での他熱震爆災に容易に成立しよいら対対である、関内的にはニラに反避せんさする態度人心の転換策さみられる、微能疾激での他熱震爆災に容易に成立しないら対対である。関内的にはニラに反避せんさする態度人心の転換策さみられる、微能疾激での他熱震爆災に対けても原料品復復、東京特電二十二日發

ナショナルの行動はソ聯政府の責任なりとする明確な

米蘇復交交渉の難闘

共産思想宣傳の責任問題

日蘇戦争などは

にやらぬ

西下車中で

荒木陸相語る

絶對にしない。そんなことはなが、そんなこ

わが海軍の心境

が治に居て亂を忘れずん

大角海相の車中談

米領グア

ム島で

人を排

原最大の資本追義画家の承認たもつで国民に電館しその地位な窓跡にすることが出来るであらうと「雨」園の要求を一蹴するであらうと摩擦され、またその内部職家においても微来幾多の不平分子の診察に響えて結びアメリカの援助を待て積極政策に轉換すべく。このため北郷職等の他の慇懃に黙しては慰然獨兩」園を牽制し、日本の澎湃州邀出を附止と、且つ滿洲■境にかても微来幾多の不平分子の診察に黙しては慰然過兩國を牽制し、日本の澎湃州邀出を附止と、且つ滿洲■境にかて後來の平和政策を拾出書書」その際に選ざる情報を綜合するに、ソウエート政府はアメリカ大統領のメッセージを輓巡し兩國の接近提



小支兩國ミ 満、獨二國を 蘇聯の外交政策轉向 奉制か

億弗を投じて

空軍

介第一を目標に

榮え!

面白く爲になる唯

本號は又

回の製作品展覧會特輯だ。

少年技師の槍舞臺たる年一

北寧局長任命

瞬間の開突上に非常な景響を奥へ一てゐる

米・蘇の接近ご

氏を隣接機路局長の前職に降任せ

弾の総要を割當てる事に決定、先つ陸海極軍に 【東京特體二十三日襲】ワシントンよりの情報

野し軍爆物機選出のため一千五百萬寿を動物で来る設によるこアメリカ政府は世界第一空軍党長のため一億

へるほど、手に入ったもの

ト月こたいきさつでも瞬きこまれ、 原の調査が鑑るやうに言った。 別の調査が鑑るやうに言った。

で大陸、お客様もお描ひに

して神戸に聴在したこさがあり、 を発信の像定である、同氏は一九二 光年から三十年にかけて機領事さ

極的に實施

十一月中着任 東京二二十三日韓 ※本る二十 「東京二二十三日韓 ※本る二十 「はア、いえ、今日は一寸都合が 「東京二二十三日韓 ※本る二十 「はア、いえ、今日は一寸都合が は一等書記官ガルコウイチ氏の後につた。もう定频の二時に近い域。いますが………」」 は一等書記官ガルコウイチ氏の後につた。

既に數目前行政院宛右計畫に要す

具を 闘ること を関するに到った が変を見るに到った が変を見るに到った が変を見るに到った が変を見るに到った が変を見るに到った。

大選入港議定のうすりい鬼態終

▲河本大作氏(滿溜理事)廿三日 午前七時四十分養列車にて帰任 年前養はさにて北行 一年前養はさにて北行 一年前養はさにて北行 一年前妻はおいて、「帰任」 「新り同上」

野繁氏(山澤開税開長)二十 男が、ごかく さ入って来た。 見 総会なのですが、生作、今日は、都会と、それは、今日の彩門も何も 「まア。それはまこさに光葉でごるさ、それは、これは、今日の彩門も何も 「まア。それはまこさに光葉でごないますが、生作、今日は、都会なのですが………」 ただくこさに 郷出して居るさ言ふ味ですから、 ただくこさに 郷出して居るさ言ふ味ですから、 起非一つインターピュウして、 初 があつて、出て等りませんですけれざ………

全部アートペーパー使用、美術ダブルトー年といべれが上つて科學日本の將來は大いに力强きものがある、見よ專門家も大いに力强きものがある、見よ專門家も大いに力强きものがある、見よ專門家も大いに力强きものがある、見よ專門家も大いに力强きものがある、見よ專門家も大いに力強を持型の製作を「鮮明な」と、

強って能へられてゐるやうであり か響曲あつたのであります、この が響曲あつたのであります、この が響山あったのであります、この

海軍にも戦略に動き、アンかで は本しても居られず。 は本しても居られず。 は本しても居られず。 は本しても居られず。 は本しても居られず。 支那の庇護戦米野策、アツかで都下の辞々たる大新版の産業が書 私ざもにも、賞は、解らないので が 別の記者が歌いた。 「何處に居りますですか。 マート・ソトル は、変形の外 「新版社のものですが」 「何處に居られるでせう?」 いざ………」 別の記者が歌いた。 りの記者が歌いた。 いざ………」 いあつて、出て差りませんですけ いあつて、出て差りませんですけ

内心、成る薄氣味窓いものを感じ

記者たちが、何かこそ

S隣紀天體觀察の一年(十

光社一川弓付均

佐然さらて家の職業や障礙して新 である。さうらてそれらの子様は である。さうらてそれらの子様は

なほこれに世界聴事に参加した

をのにないまする分かです。 けですでに覚しているとさば、それだ を表記している。 を表記しているでは、大新聞の記者が来て、 はほくくくして言った。こんな試 にはくくくして言った。こんな試

| 東京特電二十三日襲] パリ十七 | 観さる電流を扱め日本との観音順 | と論じた | 東京特電二十三日襲] パリ十七 | 観めて観歌の態度を表示し、言語 | 寒平和のためには進感である。 関から日本に割する何等かの策励 用意なしてゐる、二十一日のジュ

東天紅

愈發展! 素晴らしい出來

演習地に御進發

福井に向はせ給ふ

各係主任物、東柳、機關車

名の扇脈戦の採用試験を二十三日【奉天電話】鎌路標局では約五十

高速度旅客列車の

臨時委員會を組織

全部満鐵の手で造る

鳩ご鳩舍の

けム公主嶺で

に誇る滿鐵列 **車輛新造費八百萬圓を投じ**

明秋から全線に新車を運轉

二週間の休暇

聯盟から早大排撃

屡應々援部の聲明書

また早慶戦に暗影

内藤博士 けさ歸國

真を取ってないので警戒事代がに一寸困ちさせられるの

大籌師智満一博士祭同二 本側代表さ 四作品を買上

-名採用に

十個な容取透走した同ホテル

三日登画通り早大應送一番を数し態度を表明した

陳謝要求で

早大應援部の聲明書

態度を糺弾

する

場がら東地方面に終 場が経 (三)に去る

など年齢十九節から三十五、六節にころ都認着は四百五十餘名あていました。 鐵路總局の雇員試験

また奉天に現はる

の拳銃强盗

けさ浪速通の靴店に

が傾の一味は既に観然

たしてゐるものその他大多朝は か月間知人、順友宅に世話にな う食職せんさ奔走中のものであっ うな職性人と奔走中のものであっ

替玉を防ぐ

埠頭臨時傭員に指紋 ■上端館主人の職部を繋打して逃走した、急報により奉天響では直に非常級を避り破人の捜査を行つ砂壁し持つた磐銭を取出し恐怖する家族を別室に押込んで主人に窓内させ金票百十回、現大洋二十餘変通り五番地亞州総底方に自輸車を乗付け客を装うて入り十三回の靴を買ひ代金を支援ばんさした刹の外の外の勢力で一線行■は限を見た矢光、軽び三人眼ギャング側が二十三日午前七時半頃奉天日披の渡の外の勢力で一線行■は限を見た矢光、軽び三人眼ギャング側が二十三日午前七時半頃奉天日披の渡の地の勢力で一線行■は限を見た矢光、軽び三人眼ギャング側が二十三日午前七時半頃奉天日披の渡れ

「船標に到らない版は彩内の様子を知つた者らしい。」

*********** に引端され依友多数から

上競技選手権大会を明治神宮監治神宮において舉行する会日本一

一中軍

川氏追悼會

ふの小洋

はるびん丸で出發

花の銀座も 関係なる態度に端を登り 昨夜の大警戒

予 汞 執 氣

北西の風(晴) 逐東半島附近の警戒

十月二十日より三十一日迄

毛皮類大賣出了

品に對しては御便宜な御相談に應じます是非一度御來店の程を套、オーバ裏、防寒帽子、手袋、皮服其他在庫豐富に取揃へ御新調銀狐、赤狐、十字狐、綠狐、カワウソ、虎、豹……等御婦人用肩掛と外 期間中正札の 割引大勉强

遼東百貨店毛皮部

争變從事の

旅順白玉山 秋季祭典 各委員によって戦かに 時体楽した けム殿かに

國に捜査の手が伸びてゐるしてこの、 はない 身を滑めてゐるらしくこの、

發動機船が

概率し元に遭った

市長、下田地祭育長その他名部隊 市長、下田地祭育長その他名部隊

省天津行教順の百二十石時 五名行方不明

OCTOBER

神なが、最近日支職の空氣を大好調が がつれので天瀬丸の天津、芝罘、常 がつれので天瀬丸の天津、芝罘、常 は、上藤棚建館な一時中止するの がいったが、最近日支職の空氣を大き、常 がいったが、最近日支職の空氣を大き、常 がいったが、最近日支職の空氣を大き、常 通期に際し活編を早して来たので ・ というでは、雑食の旺盛な出 海航路を復活 大汽の天津上

質組合前で目標率一派を盗んで に続きた米月十四日に順東職 に続きた米月十四日に順東職 自轉車を盗む

が 絵集多数ある見込 を 臓子器に駆げられて智能中である まカド食堂前で一窓さ自転車機のこれに味を占めて更に山

『東京二十三日養岡道』 撃墜大撃 協議し、撃大闘から接出した水底に撃撃が明に展奏って総接警後楽などの東海所に展奏って総接警後楽などの東京に関大闘が明視に後し続い 大商相撲敗る

國中等學校相撲大會に滿州代大阪堺大濱に於ける大塚主催

大會申込締切

連日滿員御禮

日

活

●「振分小平」主題歌ポリドールレコード第二四九號●

常盤橋電三〇四四浪速町電三二八三 殿の結果電販し個人決勝戦に於いた。

甘栗太郎

民間育ポール大會は來る二十

●果然大好評!デンメイの「大學の歌」キング連載「振分小平」●

ボワイトホース ウャスキー 比無良純

英語及數學個人教授

お待たせ致しました

の餘技

廿五・廿六・廿七・三日間 於商工會議所会議場

微袋帶三名古屋帶

元織

愈 ぐお出掛け下さい あご一日限り

旧九月六日 らないお方様は今す 一べんも御來店下さ

浪華洋行一年一回の 『大藏ザラへ』にまだ 大連名物

大十月廿四日

□作書、キング連載の川口松太郎原作のやくざ物の映

口口

責任ある優良品のみの責出し……

火 身

子

五人前 一枚・ 一枚・ 一枚・ 一人方前 ・五〇 ・五〇 ・五〇

石プ用

て、五四兵所

る道施音楽食大連清脆社員供楽部 を集めてゐる部体のプログラムはドの体帯家フリードマン氏を迎へ 解除て除能、音樂繁煌彩の津田・大の体界体帯界の巨匠でショバンの権、主能、木社後のの英地彩の津田・世界体帯外の巨匠でショバンの権、主能、木社後のの英地彩をはは

廿二日二日間

「断様な人準人でも、概

指者の兄さ

かエレキの小縦を振った。

家たるソスタコフウイツチ氏で監察に有名な常年天才音楽家で怪世 例山)も脚する弦十巻の良尺揚での山)も脚する弦十巻の良尺揚で

「ズラテウイエ・ゴルイ」へ覧金

更に最近レニングラードのソユー人して何れも日下機関中であるが

東橋にさばるさ共に、此のエレキ り、郷茶は棚香のエレキを持つて り、郷茶は棚香のエレキを持つて が棚舎のエレキを持つて

フリー

7

子澄木鈴·德璃嵐 演主 郎太玉川市

洋琴獨奏會

廿五日のプログラム

「呼應評畫」「アドナー」等

ナー」等か論

洋

服

前丁子屋洋服店裁断師芸術先方地も弊店は喜んと

赤津秀雄

頭痛じノ

輸入一手駅製機を機器した数一平 るが、ソウェート映識の日本への

秋間にして正に映議シ

勞農映畵輸入

しいほご落付い

ゆしは氣分がなほった

要が、 突然師をわげた。 要素が、 突然師をわげた。

向ふの部屋のなりゅきを

作

(237)

が疲敗を打つてやる。勝者の女房、う、片手をふりあげたまって、既れた選続がや。父に代つて、勝者、五郎兵衛は、釘付けになったやい。この難職、父継續からゆづら、の難職の成既、なぜしないのだ」 手練の頻騒はどうした。親ゆづり 「頭太郎」 さ呼んだ。

オール 本日の豪華番組 ・サウンド版

を伏して御願ひ申上げます 一個の御愛顧御引立あらん事 レコードの特約販賣店となりました なりました ボリドール各社蓄音器 並に

大連市伊勢町八六〇諸県新向野城

大島屋 鮫

島商

電話七〇

解れて要失さ打つた。 の極を一様につかんで、引っばつ 上げた樂館の難な 雷 林長二郎二役主演映書 長谷川伸原作 一東 京 音 頭 伏鬼信子・水人保澄子・水人保澄子・水人保澄子 **満田コメデー珍品二種**

た数量が五郎と

かすかな返事だら

のを云ーく踏みさいまった。

五郎兵衛が聞くの

全料人殺怪に前を衆数大の萬七廿廿 三版本日●●作大の來近社バ六三 十版本日・戯遊色桃の人亡未日日 **銭部樂俱人亡未**まよ

特約店大連市機町中村景太郎 秋 空高 ピクニッ E 若 ク 1

せずべきず

高い

品は御注意を御四申上げ

「機 着羽 月 尺 羽 地帯 地 織)

本場大島紬專門

に移轉致しました同時に 意様に對し甚だ心苦しく御座いました就ては今般左意様に御座いません從來の所にては不便此上もなく御Eで日に增し隆昌を來しました事は何とも御禮の申上。 大島屋蓋音器部開設

記得け様

金 **查**返

風ト登瓶プ

品·返 金 自 標として新しく發賣された時計機械は瑞西、正確と堅牢とを目 (十四日は 費出準備に付休業) 賣販手一洲浦 一、實意、丁字に、親切にすべき事 一、他店より高い品を選み絕對の責任を 持つ事(臺麗宴音曲) お信條を弊店の識則とし以て商賣報恩 すべき事 信

廿五日ョリ

新

揃

廿九日マデ

品格破 いざぬます、御用命御願申上ます特に今回は十月中旬冬物第二回上京仕入したる特別奉仕品で低値段で最善のサービスに一同異常の努力を拂つてゐます、吳服專門店として必ず皆樣の 御期待に添ふべく優良商品を最 団男古綾パパ湖パ 九九七七十八十十 圓 圓圓 五 五五 二 十 十十

经周围经经周围周 よりようないかり 各各各各各各各各各 種種種種種種種種種

会巾裏地 (九川) 白タビニを三十 日タビニを三十 一大七十五段三十五段

2.5

ネサ

ト礦と遼河

大石橋より營口

(1)

名は喧しいが実物に満州資源館でれた我ら一行十三名さ大で観察に一行十三名さ大で観察に一名のは真に王道樂上さ窓構ら

海のでは、今年は一般活りで大産権が 様は近ごろ海線の否。世界の問題を 様は近ごろ海線の否。世界の問題を なってゐるマグネサイト戦山を なってゐるマグネサイト戦山を を 見るためであり、繁日は最近の密 りを中心さらて特楽の影響をさ

いて、むしろ快適である。 人もあり、満洲の秋の野外散歩め

いづれにせよ、新味記者ららい思っていふっさすれば我々はよくいへ

關東州入港船舶

九月中成績

前月對二百隻增加

依然成正な行い、現在は衆中の油新大豆は減くて強者するにがらず

共益を目指し

府縣駐在員協會成立

大豆暴騰

ラ合商の成行か樂観して

支那南洋その他の市一の帰郷に康郎出来の田東市場への輸出減一斯くて大統治が午発

て大統織がケ発館での操題や

株につき十銭厚高を以てしては一度で、取引盛んな時であれば一様一番も漁房、製器も根実に配換して 物一園二十銭厚高を以てしては一度で、取引盛んな時であれば一様一番も漁房、製器も根実を職保し得さいても繁認たる豆漁、豆粕もがは、産業を職がせず、又選業中の工。然取引し心域を禁るが探察を職保し得さいても繁心とようさしないが、漁房業者が探察を職保し得さいても繁心につき十銭原常を以てしては一度で、取引盛んな時であれば一様一番も漁房、製器も根実を職保し得さいた。自大正十年以来の安値に顕素したが、本規である豆粕は二十萬杯紙。る以上電影は熟練を職保し得さいた。自大正十年以来の安値に顕素したが、本規である。対域る不足してゐる職像から、自大正十年以来の安値に顕素したが、本規である。対域を不足してゐる職像から、自大正十年以来の安値に顕素したが、本規である。

製料量の先約定は來年一 製料量の先約定は來年一 で居る事

操短率問題で

据置、緩和兩論對峙

紡績聯合會近く協議會開催

以降三川までの春期は焼きに 一般の注目を集めて居る明年 二十五日大阪に午餐會を開催

一、現實に九月の節号でその論案は

採算不引合で

操業油房僅々數軒

粕相場の崩落が主因

補い得る事

を設するが、右操矩や は午餐食内に緩和論さ扱ー、現實の等であるが、右操矩や は午餐食内に緩和論さ扱ー、現實

シムラ合所の見透しがつかわ

和金に基元方本田組合長より

据置に

決値定は

印度側の要望に對し 日本は慎重に考慮研究 期間問

滿洲市場紹介

展覽會日取決定

福井外全國九都市で

兩議長歸連で

愈收拾に着手

市長、市場問題で

▲開催地

の中山から、漫画院が出るでは日中で一般の神響が数立。 の理由から、漫画院があるさ。 のかの理由から、漫画院があるさ。 のかの理由から、漫画院があるさ。 のかの理由から、漫画院があるさ。 を見るかも知れないが、然らずら を見るかも知れないが、然らずら を見るかも知れないが、然らずら を見るかも知れないが、然らずら で、日本館さしては戦に議画院會 までの形勢如何に依つて会議期間 か、日本館さしては戦に議画院會 までの形勢如何に依つて会議期間 を見るかも知れないが、然らずら での形勢如何に依つて会議期間 を見るが、日本館をはつては戦に議画院會 までの形勢如何に依つて会議期間 を見るが、といるのでは、然らずら を見るがしなれば相常長明へも までの形勢如何に依つて会議期間 を見るがしなれば相常長明へも までの形勢如何になって会議期間 を見るがしなれば相常長明へも はないる。 日本に就いては、四かの世界を有利に展して可及的日本の立場を有利に展

照井(十月三十日)▲金澤(十 一月二日)▲[諸山(同三日)▲ 新潟(同四日)▲東京(七、八 九日)▲[議演(同十二日)▲ 門(同十四日)▲名古屋(同十一 元、七日)▲[本](同十二日)▲

混合飼料組合と 書籍組合

原東京特信」東京時、市、陳王會 をより依頼された端州市場の党際を を記述の名といる。 ではるさいふ話言のもさに左記の 即はるさいふ話言のもさに左記の のとでは、 のとでは ▲見本商品

理 診察し務し ・ 小川市長は大内市食験長が昨夜、 | 主複會は十一月十五日 ・ お月 歌歌舞が全郷跡迷らたので二 でのるが、歌遊へ映の生 ・ は 『歌音市場問題収拾を転談して極力 《金は二萬二千圓の郷 ・ は 『歌音中場問題収拾を転談して極力 《金は二萬二千圓の郷 ・ は 『歌歌を表むることになつたが大内 してなら十七萬圓の料 ・ は 『歌歌を表むることになつたが大内 してなら十七萬圓の料 ・ は 『歌歌を表むることになったが大内 してなら十七萬圓の料

廿三日

前場

特產

降雪と

消懸念

してなほ十七萬間

「京城野」朝鮮運送資配の今期株一 朝鮮運送會社 五分配當据置

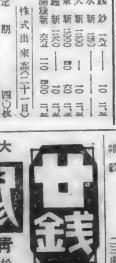
然日明け二十三日

税收減少を考慮

満洲國相續稅を制定

世史 は一年萬風を放 一千萬風を放 一千萬風を放 一千萬風を放 一千萬風を放 一千萬風を放 一千萬風を放

大阪株式 大阪株式 村 前 11元0 村 前 11元0 村 前 11元0 村 前 11元0 村 11元0 新 11元0 新 11元0 新 11元0 11元0 新 11元0 11元0 一 12元0 一 12元0 値 11元0 値 11元0 値 11元0 値 11元0 値 11元0 値 11元0 位 11元0 100元0 1



鐵 株(保合)

生物標金 大一五元八〇 等値 八一五元八〇 会値 八一九元五〇 上値 八一六元五〇 上値 八一六元五〇 上でで換高(廿三日)

大連株式取引人大連株式電物問屋 旅順支店 · 京支店 電話長二三四九

魏整金大旅 子稿 高店州連順 職保の日本に難し報査能整義の低であると解へられてゐる出版のほんこん或で渡日の像点であるが、主なる用作は出資。最新京電話別淅洲中央銀行機要称時氏は來る二十五日 大連 満洲中銀増資か 總裁渡日の用件 事らそのためご噂さる

新の健康が機動せてる結果、油房 が大くは勝ちの真治交があるが、見 がたくは勝ちの真治交があるが、見 が大くは皆へす、調る経過に がなしては言へす、調る経過に

全性在生産が配納、 品間販売業型 して種々服産を飲の健康性経験によ して種々服産を飲い、まる十九日 に決定名機を大連駐在主席が に決定名機を大連駐在主席が に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を発いた。 に対応を表し、 に対し、 に

□ 東京特電ニ十三日整 軍際川防 ・ 電影で記載中の満州皮革株式気軽は ・ 電影で記載中の満州皮革株式気軽は ・ 電影で記載中の満州皮革株式気軽は 、軍隊用防寒毛皮製造が目的

マグネサイト職は初め水成岩の 陸軍一等地部正で適業資産領主事の影響を受けて要質したもので 尚同融配立事務所は目下大阪市堂生成の順序からいへば、石灰石 島ビル内にあり物来の部最は適家 交流ので、ガー帯はマグネサイトンー潜石さいふ における郷羊、領兵他の皮薬を家職になるさいふ、そこでこの附 試験に引き受け受造するもので、近一帯はマグネサイトンー潜石さいふ における郷羊、領兵他の皮薬を家で、一者成者ではイトンー潜石さいふ における郷羊、領兵他の皮薬を家で、一つの有要な職物は入り離れて賦、武の一中は公募するものさされてつの有要な職物は入り離れて賦、武の一中は公募するものさされてつの有要な職物は入り離れて賦、武の一中は公募するものさされてつの有要な職物は入り離れて賦、武の一中は公募するものさされて 奉天へ 日本水

九ヶ月間

では、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、我らの心を選がならとむる。 が、母する同様に機性の山殿は悉く如く郷壁して食味といの井上継が部長である。 本二十四日大連年前九時費、替 は、一口の日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日登日午 は、一日本報客へ二十五日全日子 は、一日本報客へ二十五日全日子 は、一日本報客へ二十五日全日子 は、一日本報客へ二十五日全日子 は、一日本報客へ二十五日全日子 は、一日本報を記述される。 大阪に本社を有する資本全自常園であるさ 安東輸出豆粕 箱敷壁は次の如し

產會社

九九、〇〇〇

八三五、八九二

廿三日北公開

外男子異状かり が男子異状から が明子異状から が一般のは 路路 が一般のは 路路 がいる。 大岡格電主演 路路 のは 路路

振替口座大連五九〇四番

眞新しい肩章

二十日曜戦大器戦銃の御か込めらせられ天皇陛下には午寒衛東部や管轄片石使中野、陸軍大臣意木貞天中野に撃

閣議に臨む陸相

保安隊、反撃さる

二日登回通』政府職 せ配して悪に午後四時より澤田代る本名の總常は昨日 表の客で能職部会談を開いたが我を開催したが本省よ る焼き 異に裏門委員会に附近された職様で、選続な方針と 有利さ考へ近く滞田代数さポアー 氏を訪問し行合一方を提供する響である

場工幾屋方三

弓張嶺運礦鐵道

で、最近になが本省よ

包圍の

皇軍逐に省境に出動

東京交換は浦ツ藤保さ本代さは別はする職種さらて設定方針に基立とは川崎を繋するであらうさ見られ、地工作問題さは別個の見地にかいな川崎を繋するであらうさ見られ、地工作問題さは別個の見地にかいないの浦足なる解決を見るまでに、州岡郷では北郷譲渡交徴さ北郷現本代の浦足なる解決を見るまでに、州岡郷では北郷譲渡交徴さ北郷現は頂れて出るもの、如くであるが、本院・得ない模様である。なほ浦は頂れて出るもの、如くであるが、本院・得ない模様である。なほ浦は頂れて出るもの、如くであるが、本院・得ない模様である。なほ浦は頂れて出るもの。

【ペルリン二十一日要回通】ドイツ首様とフトラー氏は二十一日パッドイツは咆まで平和な希望するものなる旨な強運戦りし左の如く変数した

の如き場形を送られたいて 一般でなりて忠誠を書ふや食業は

多様はリー大肆が受軽な代表し の如き場形を送られ次いで受軽能

が出来ない。

作と雑貨

行的に協議

立山驛の擴張

近く専門委員會開

進退共に兩難

心鐵讓渡交涉

の押賣、排撃

【東京特體二十三日盤】ニニユー 蘇代表渡米期

ナチス突撃隊の集會に臨み

の学明なるものを振動に関うなど、 の学明なるものを振動に関して、大田の一般では強く之を説に関して、大田の一般では強く之を説に関して、大田の一般で、大田の一般で、大田の一般で、大田の一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田ののでは、大田のの一般では、大田のの一般では、大田のの一般では、大田ののでは、大田のの一般では、大田のの一般では、大田ののでは、

【モスクワニ十二」

行すると地流一新

新京爆擊計畫說

支那紙の挑發的虛報

ソ聯常局躍起となつて否認

ヒツトラー獨首相强調

日

、大本蟹に入御避ばさ

想是外階観を許された朝野の大将、植田参謀次長、桃徳事

中の北線鐵路局長殷同氏は左の如中の北線鐵路局長殷同氏は左の如

を関さ交渉中であり、また率山 はと脳内通車問題に関こては未 に折衝を始めてゐない

女順通」目下來京

未だ折衝を開始せず

南京にて 殷同氏語る

接も近日中に障朝すること、なり接近の電スクワ政府より召喚命会に

ポグラ領事

保、南、加藤、渡邊各陸海軍、小山、大角の各國務大臣、安

芝城カらせられ次いで百五十 大月市長の揮星する上奏文と 大月市長の揮星する上奏文と

別大蔵智さ蔵智後の地方御巡 別大蔵智さ蔵智後の地方御巡 別大蔵智さ蔵智後の地方御巡

なる。蘇特、職院、伏見、婚本

大本營に入御遊ばさる

本が 東連大木然に致る伊服道に東連して 第7 名士禄井縣鎮に東連して、なに級井縣・野原、野生、 帯年閣、市民等

泰迎者十数萬さいふ盛

をで言え の下に行はれるものさ見らる をで言え の下に行はれるものさ見らる 歌古の宗は艦は支那に踏する前提 アに臨み艦 歌古の宗は艦は支那に踏する前提 アに臨み艦 歌古の宗は艦は支那に踏する前提 ア

ローク楽電=職能するさころによればロシア外種リトヴイノフ氏は 十一月七日までに渡来する像定で では来れる像定で

穀の大元帥陛下には河東

陸相を始め農相、拓相・重及びイデオロギーの懸線わり、

政友會

は整合制度の確

名目的宗主權保持に

支那政府當局大汗

する新疆

魔々に分れ優勢に對する談談の根原館する、この場合隊内の意見尚

所 行 發

香〇六連大座口替起

地雷,州可關公東市連大 社報日洲滿紅式

法學博士

非常

時

٤

或

體

論

統一し挟背し支配して、統治する

開家は人類の統治摩修である。

を ときは同様なるものはないで というでは、 をいっては、 をいっとは、 をいるとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしとは、 をしと

宛ら亂軍の各派主張

いはる

現内閣

非常に緊張するであらう、尤も獣 に導き来った事質とからす労々北 れてゐる態度如何で當分の間目滿り願深は ても問題の藏化が却て交徴を打除 [編集して世態にあり、帝國政府も極めて疑察 織交渉の前に 開職して非常な興味ならつて見ら

能を立てる者があるけれざも、演 神殿」であるさいひ、其他様々の 神殿」であるさいひ、其他様々の 「人情、風俗、言語、衣服、食物 では、大きさる でいひ、個々の國民が でいる、個々の國民が

は何民さは、國家の組織要素であるから、統治者

である。國家の組織要素なる國家の関係といふのではなく、國家の國際ないふのではなく、國家の関係といふのではなく、國家の本際中最も

家を統治する人の生命が、

入京した于芷山上将一行

一反映で見らるべきものである 米の支那に於ける航空鉄力振遠の 米の支那に於ける航空鉄力振遠の 北平空氣好轉 栗原總領事談

こ同行北平に赴いた栗原總領事は 大津二十三日登回通 有吉公使

任關東總局 際りにお合

言論自由を確保

民政黨、

政府に進言

(世三日)

命を統治化したる権利である。人機は権利の一であるから、人の生 利であるから、慣利の治療は、 生命に統治關係上の効果を生せる

戦を必然に構張の必要に迫られた 別込織の分が曝である清銀経立山 別込織の分が曝である清銀経立山 である清銀経立山

働きながら勉學し實力縱橫の士となれを背景とした日本一の講師の顔ぶれ!を拓く理想的の講義錄が出た。「商店界」望せし、成功の實力を養成し、出世の道案れ!商業靑少年諸君!諸君が多年渴來れ!商業靑少年諸君!諸君が多年渴 の道

最新式通信教授法 大高店でで 寛務見習 商業學力檢定試驗 で編とで原の完善甲種樹脂では以上、大學の最大である。一流の大家或ひは大商店員、一流の大家或ひは大商店員、一流の大家或ひは大商店」の最高幹部である。 るす管經の界店商

て製造と大阪の大学に対し、大学に対 内蒙の政情調査 黄内政部長を派遣

をして其の空軍飛行 方航空公司は資本金二十餘萬元を に動きり航空委託戦 育を行はんさしてゐる、 骨又西南 に航空機大阪の援助に依る廣 に航空機大阪け民間探線士の牧 英米互に援助の廉賣

共匪討伐 大本營組織改 造

第五次

杉村公使漢口着

說明書無代進呈

自通列車試乘記。

警備完全に絶對安全鐵道

說

滿鐵佛財團合作

事業の對象を何處に求むる

◆乗換券の吹着が問題になって居

専門の清潔を

これも、拙速、の罪 には弱つた 古藤博士の親寨談

北海道新画大学な内で、

新京に陳ふ智(寫真は質 次氏(新潟線工所軍役)

當市保

市

るものが發見され得るか何うかに多少の疑問を有し性際師見地から推してわまり重視して居らの極縁関帯に運び得るか何うか、又滿洲國の現城に照してフランス側が健康では、大陸において日滿兩國の現場に運び得るか何うか、又滿洲國の現城に照してフランス側が健康では、大陸において日滿兩國の現場に運び得るか何うか、又滿洲國の現城に照してフランスの財職代表が經濟を持つて歸國する場合、果しての觀念を經濟となった。滿難さの經濟及び專澳組合認立に就いて異常ないこと規明とた心臓がの過念を經濟となって發展を表が必然を表が必要において日滿兩國の過濟に運び得るか何うかに多少の疑問を報告して近く正式に認可电話する場合、果して心臓療のが發見され得るか何うかに多少の疑問を報告して近く正式に認可电話する場合の誤解を表むるとこて演奏側としているが過ぎているという。

獨立會計收支は 頗る複雑ごなる

満鐵の營業收支豫算

答禮のため赴

二十五日新京 を出發 勝国するさ 太田營口領事

支票の形然を作

る 「入港のほんこん鬼にて夫人同僧来」もいくまい、米月一野摩伽伽を放って北平、天津の領事を動めた支 物質能並びに精神能問題が歌鵬されて北平、天津の領事を動めた支 物質能並びに精神能問題が歌鵬されて北平、天津の領土を動めた支 物質能並びに精神能問題が歌鵬されて近季するか、8月が共産地数監修を

綿糸不

原情報会報 別(00 10四,00 月間管理会際 Joy of the Taste

本各地名産





三四九二章 Ot至三个的 个四〇三 店

加日午後五時航 山西丸

☆ 会別車にて來連星ケ浦ヤマト
が る徳川邇順公爵(日本赤十字社副

鈔票强保合

0

! ピンコ名の意味田岡 • 子かず:江入 よ月よれか位に命運の电信さ子海漕

本さ室内の緑絵をやりますで男の

おしむが勝美夫人だつたさした。 特のです

「他に生きる道を選んだらうさ思い合なのですからお互がいたはりしますわ」千代子夫人は即言る一合い理解し合はふせいふ勢力がないますからお互がいたはりのです。 大端さいふも

ります。私と最女が際日交代で炊いたこで徳動はで焼の仕事にからし来して徳動はで焼の仕事にから

るくのびくと空観に育ちますと うさはしないでせうし子供等も明って何も外につまらの空気を求めや

場も大きな税を感じてる 関じ日本給人の一人さら 関じ日本給人の一人さら

長女と交代で炊事

前夜に翌日のプロをつくる

代連婦人會

奥田千代子夫人

部合七人の家族でございますが女 中を使ってゐませんのでよほご要

の家では五人の子供さ私共夫婦さいまはないだらうさ思ひます、私

ち婦人館の用事や覧物に出かけたります、それでも三時頃には子供等がかへりますのでなるべくでの前にかへつてゐて子供等にさびしい思いかさせねやうにさぎへてるます。土職、日職はみんなの一方もなるべく失職さして頂いて栄養しなるべく失職さして頂いて栄養しなるべく失職さして頂いて栄養して

奥さま教育讀

本

生 法等によって早くその病原を治す た受けて服敷、性射等の敷析・線が 法若くはデアテルミー、 が外線が

ほさんご苦痛を感じない程度に

なごがあって、平宝

十領であつた波圖ルクラコウに の明治十五年)當時オーストリ フリードマン氏は、一八八二年一

時からピアノの稽古を始めた。で生れた。父は音樂家で五歳の近いポドコルッエさ云ふ小都會

ードマンは本質的に思索的の

大きな牧後さいふべきでせう。

界にさっては昨年九月來蔵とた提考家デムパリスト氏以來の

→町二十五日大連協和会館で除催されます、大連案

本戦後間の洋祭家ソリ

ードマン氏の演奏官

樂界の大きな收穫

二十八川まで四川間大連市

慢性で平生苦痛を感じない

編物の秘訣 や流織物の とケッは部分線を始めにこて見て その線目の大きさを知る事です、 一时がいく編か、又は縦にいく院 かを知って、洋斑さ同じやうに盤 がを知って、洋斑さ同じやうに盤

かにぬいてりかけで乾す

野総響な思索によって検討されて されてゐる表現の正しに手段で周。

は凡ゆる実現の手段が如何なる場合ないものはない。フリードマン

日

な病気ではありません。ひごく「冷えこみ」さいふのは何し程

寒别

別が下ったりするこそれが原成されって人並以上に乗さな感じ苦痛が下ったりするこそれが原成されるです。この不能性ない。 「冷込み」ななほすにはなるべく

乳のシミ乳のショはベン

フリ

家庭重實帖

金曜日が

番疲れます

る婦人方を多く見受けます。どういふ聴躍が必要でせうにいふ「冷込み」で離儀す。どんな頻気でせらか? 又にいふ「冷込み」といふのは

郎氏のおはならを伺ひませか? 岩男際院長岩男英二

岩男學院是岩男其二

岩男其二郎さんのおはなし

冷込み、はどんな病氣か!?

原因

八科方面



の能率

所によつて次のやうな事ないつ 能に調べ、此歌に総部かさつた で一週間のその日その日を能率 で一週間のその日をの日を能率 ◆…月曜日 は前日の依然が てゐます Pがりませんが悪くはありませ ・水曜日 昨日ほご能率は 一番仕事 でせっ。

慣れ一週の始めなれば減し起り 間で一番駄目の目です。◆…水曜日 は昨日の仕事に 事の能率は窓るとく下落ません。 ◆…木曜日 少し髪れて来ま 大いに疲れて仕

て変れません。あきれたもの明日がお休みださ思ふのでい

でですら一週間に一番を多のい等ですら一週間に一番を多のいでですら一週間に一条をある。 その前後の御馳走にきつさ効果。

を見なるできて鬼様であなたが、その前後の背号でしてす。 ころできて鬼様であなたが、その前後の背号でして事にです。

三回縁返します。これを二、ちアイロンをかける。これを二、デン油で濡らし手続ひをあて上か 皮手袋は 窓の手袋を始め 對局者のことば

サスクな 一型の は一世によった。今春三段に進 一学昭和三年十二月師たる中川八 の死さ共に後編なき師家に入っ ではかりである。これに對する だばかりである。これに對する でばかりである。これに對する ではかりである。これに對する ではいがである。これに對する を加えた。今春三段に進

のシマリさ白四、六のシマリさ白四、六のシマリさ白四、六のシマリさ白四、六のシマリさ白四、六のシマリさ白四、六のシマリさ白四、二の手で(ヨ三)なごに守つてこの手で(ヨ三)なごに守つても黒(ル四)の経辺を被つては、1年のよせん

價定

-- [1]

光香三段 中村男子

部新

百貨店ニユース

院教大手合戰譜第三回

有二

十一月三日發賣)

▲午前六時 ラデオ體操第二 ▲午前六時 ラデオ體操第二 ▲午前六時十分 ラデオ體操第一 連 5044

幾久屋デバートにおいて作品展覧 ▲▲▲ 九九七三 五五八。 三四角角 元五。 馬歩成角 飛飛步。

篇一千圓☆ 兄 と 弟 虔美人草☆ 類

正宗白鳥☆五相會

議は成功

しねつ

花櫻會支部總會

▲山北孫三郎

水手 先六段 **議**新

れ等の事に難しては彼の抱懺してさ云ふ事を考へてゐる、從つてこ

思想 はピアニストにさつては 無知 はピアニストにさつては がいかい はない はっぱい はっぱい はっては はない はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はっぱい はい はい アニストにさつて

の金銀に割する切食体のなる感想を述ぶ。
東の関心等。いき財务度一の参給養療氏自ら時景の関心等向一位を導動し。財神の動向如何は全 す

常時アメリカき指、人々 る者・波多野乾 長谷川進

商品である。 第四三・京東書振 社論公央中 錢十八

製鉄合同の批判 ア戦線に於ける日英印の對立 К興味はたゞ點差のみ…

マイクロフオンは語る…

の主勝を豫断す…

のする。 和木滑三 猪谷善

鹤見前

話 平林たい子 津田青楓 或る部落の話

の

無限。

夜

一文作者自ら自貴司

ではこの六十名に對し六百名に つてスッカリ 情れ絶好の天氣に整をはこの六十名に對し六百名に つてスッカリ情れ絶好の天氣に整

苦節十年の都市計畫

凱旋驅逐隊員の

慰安會開催

二十二日旅順の盛況

時代相を映して

觀衆押しかけて賑ふ

生・異議あり 大連港中心主義は最早無意義

沿線住民の引下運動

織間さほど同胞離の安東四、平衡・

飲食店全盛

挙天署に映る世相

| 「大阪 | 「

に一萬二千餘層が存置されてぬる で一萬二千餘層が存置されてぬる で開名が襲却とに緩緩も遠陽城内

田治ジャー (日治ジャー) (日治ジャ

女奉線の運賃に

請願運動開始

安奉線の不安未解消

古本 高價買入御報参上 市内但馬町二〇 文 光 常 ・ 市内但馬町二〇 文 光 常 ・ 大連市西通三五番地大連案内針 ・ 大連市西通三五番地大連案内針

「一行は二十日原本連一十分から整察を持たって、 一行は二十日原本連一十分から整察を表して、 一行は二十日原本連一十分から整察を表して、 一行は二十日原本連一十分から整察を表して、 一行は二十日原本連一十分から整察を表して、 一方からをでは、一方からを要求を表して、 一方がりのを表して、 一方がので、 一方で、 一方で 一方で、 一方で 一方で

穩·海拉爾

のんびりした風景

本溪縣の體

1980年祖原正義先生創製 1980年前 1980年 19

在社社区 金 九 拾 銀 本社社区 金 六 福 銀



製を樹て、日下これによってよ 御部遺を修正して近代的都市地 所の設置確定さ回時に右既存の 所の設置確定さ回時に右既存の

大鞍山經營案の骨子

| 大連市監督連手法領 | 大連市監督連門 | 大連市と日本 | 大連市監督連門 | 大連市と日本 | 大連市と日本 | 大連市と日本 | 大連市と日本 | 大連市は野連市 | 大車市 | 大連市 | 大型 | 大連市 | 大車 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 十 月 | 1 日 | 十 月 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 |

四平街でも引上

地方事務所料金決定

銀は線帯部公順館の各一部である鉄帯館の各一部で値下げになった

貞操を賣る

母ご妻ごを殺害

吉林に生活難哀話

談會開く

こな白粉

に観衆をアツミ

居る中に良く作用します。

匙を與へて下さい。

御園の肌色は

色数五

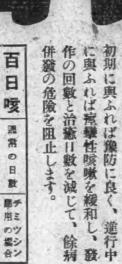
に廣く愛用されて居ります。

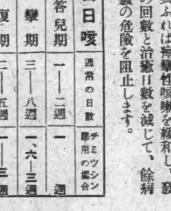
给另 會

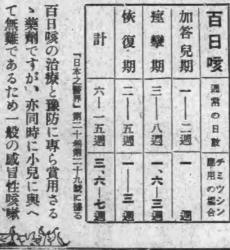
海道に勝る 果北の農業に比べて惡くない 等學校 野々山氏視察談 農業移民

+

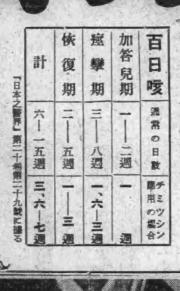
二十日警察にて出願















営口の催し

キバシ健康 は滿洲視察の途 が流鏡は近親の 識を映論し無粋 てこの地震観 日午前丁一時

入場料は無料社原外 融資は集部において 配対は集部において 日は秋季搭銭祭を

選手公 名の

緬羊を配給 錦縣公署で

大マラッン 参加

豫防にも治療にも アミッショ

田邊商店 三郎扇店より送呈す 著名禁店にあり

季節草履の即用命は御婚禮履

一五〇瓦、六〇〇瓦

五十錢(四日分)三四八卅日分)

參天堂株式會社

して炎症の自然的解消が行はれる。

淋巴腺腫を「切らずに散らす」目的に最も賞用せらる。 患部に滲透して化濃菌 の活動を減殺消炎するため筋炎

腰の縮少など――テラビアの早期應用は屢々切開處置を發熱の減退、劇甚なる疼痛の緩和、浸出液吸收による腫

今三云って今ー セキにも一ゼンリクにも 脱炭、肺膜炭等の、セキを止め、タンを怯り、鬱を実を固たゼンソク、執拗、咽喉カタル、氣管支力タル、 し、呼吸を果にする専門薬であります。

不熟腫物の消炎剤

樂

百日咳にも

學學代表

び諸博士の文献を無代送皇敬します。病を咳嗽及び略様の話」(全一册)及病と咳嗽及び略様の話」(全一册)及

特通りの色刷寫真で 番便利です。赤ちや 番便利です。赤ちや 心向き編物 表で大評判 ち至急にお求めください。 て、ドnの雑誌原でも大震行です。



別册附錄

(六)

生女 · 山吉商店 西山吉商店 **毛が中の総合数**



大阪天王寺不、江門東京臺東京市芝田村町東京臺

家具の設計と制水作

カンノ洋家具店

糸はて

熏門

后

三大越山前通



吕鄂岂新製薬

情むべきは 青春の顔と 麗顔の効果を 御存知か?

電二管六 智號 十 五原 十 十度 個錢



氣管支炎 炎胃 肋膜炎 包装 五〇〇天人 二五〇天人 近時エキホスで経しエキホス又はその類似品の大量包製より適宜小師に 即候處右者屋を陳蓋又は吸濕せるため巴布側の生命たる 達出液吸軟性並に組織内 酸透性を減弱し質めに製効の完全を期し難く 候間御購入の際はエキホス製造元の特許包装法 によれる展対局ご御指定素順上候 遊坊の完全を取するために (土機寫 異念照)

(E)

焚

項

中央公園にて

一登画通】慶應側の

ーグ常局は左の加

司法關係に鑑識課

指紋法と共に施行

科學的犯罪捜査へ

職能職出港内地へ航起時間する。

智能的刑罪の複雑に伴び、これが、受の平定さゝもに各地に登生する

早慶戰は中止か

小勢を探る

育庭に反映書かる表と、慶大の繁一般に大製の問題さなりで 部の繁明に難じ早大は二十三日午 見たものであるから、問 がの繁明に難じ早大は二十三日午 見たものであるから、問

・ 見たものであるから、関係は必然 ・ 見たものであるから、関係は必然 ・ 見たものであるから、関係は必然

局さしての具動的腹梁もあるが 意理せん事を希望して居る、當 などしてはリーグ當局が適常に などしてはリーグ當局が適常に

大を誹謗せんさす

慶の聲明は殊更

早を誹謗するし

【東京二十三十番画通】早悪寒器 関の電間こつく交略第山川糖育器 是は語る

山川課長談

農業と軍事に利用

設け

日滿合辦の隔離病舎から

保健統轄機關まで

來春から北滿氣象

観測は完全になる

早大・反駁を發表

紛

いせせなった 乾安に匪襲

早大を除名せより

慶の意見一致す

る五百名の解脈が觀察し轍城を包。 と西オコタイガ酸に養生とつゝあ。「本天電話」較短轍城には敷日来「空宿調査班の談によれば、カラハ「本天電話」較短轍城には敷日来「空宿調査班の談によれば、カラハ「大事」

早稻田側

ペスト南下

三日分し、監判中である、同覧巡り、語るさころによるご覧域に受るというによるご覧域に受るというである。同覧巡り、記述の環境は対して来たが常局とは地域の環境は対して来たが常局とは地域の環境は対して来たが常局とは地域の環境は対して来たが常局とは地域の環境は対して来たが常 相は且下調査中であるさ 人騒がせ海賊

徳川関原公爵は世事有吉忠一氏、 派州ポ十字社の民況観察のため今 のルビン、家際、蟹口の各地を巡 のルビン、家際、蟹口の各地を巡 のルビン、家際、蟹口の各地を巡 のと地を巡 五斗楊託、今野秘書課長、飯田書 一の死亡者を出した由なる

部帯同二十三十午後四時四十分着 部帯にて来述したが東中出班への 部構に混る になる したので社員章を乗へる為义各

家公山

表彰する目的で の功労を 日本赤十字社副社長 德川圀順公爵來連

生存者五十六名

見留と一個一人は、アスト

直書の電力八三三

* 文

AR

大連市浪速男

大連競馬の開催

四十五日

不許可に決定

射倖心を唆るものは一切嚴禁

當局の新しい方針

製品の各種校生徒の参加あり急義 安施製隊、少年順の参加、製料大 安施製隊、少年順の参加、製料大 隊、自動車隊の各軍館め満洲國城 隊、自動車隊の各軍館め満洲國城 「神戸二十三日養園通」屋島丸処 離人員百二十一名中生存者数五十十一時半現在養表に依る橋敷は選 十一時半現在養表に依る橋敷は選 十一時二十二日養園通」屋島丸処 離人員百二十一名中生存者数五十十一時半現在養表に依る橋敷は選 十一名 (解教十二名、 解験二十二名、 解験五名)

生機關の施設

流行を機に

である。

削減き定行せしめてゐる有名なるマグネトー 貨物自動車を、その初期より今日に割るまで

これこそ、モー

御注意の上排撃され の安價なる模倣品を

野の只中で瞬間に救助も求められず気り果て

が貴下のエンデンに装備されてさへゐれば旨

ポッシュの始別装置とボッシュの監照施置

観こそボツシュ製品 が、ボツ

どを映いてゐる。

日本總代理店

イリス商會

シュ製品の具備する

食を乞ふ

東京市赤坂區溜池十五

一次に要判数域でもあって、 とを得たが、防疫艦 が、防疫艦 同の防疫機関を設置している機能をよって日浦合同 職東職・浦殿・ 生調より代表者集り適當な日浦生調より代表者集り適當な日浦

大連市連鋒街應小路

大連署新主任 峡負中の大連署新主任 峡負中の大連署衛生主任は周水子飛行場警

方出身の満洲派選筆時間のため二

青森鄉土映書 青彩観土

施な一手に行ふこささなる 深病脈度を定め国民保健防疫の資決定のよってある満洲国の法定体

安樂 機械を設める。

おるだが魔大人

栗少尉等遺骨

が国の前で戦死したのを介極で、戦友だつた南部伯や長岡屋で、戦友だった南部伯や長岡屋

は先輩の山内機選より避かに別れ、 人みたいなこさからてぬる頃。 人のないなこさからてぬる頃。

奉天忠靈塔前に

英國兩士官

死せる妻と對面

大角海

秋の招魂祭

英璽の眠安かれ

領事際

か島から際と対にペリ 東底長さ技にペリ 大人の死骸が収料点を 人人の死骸が収料さ たした。 東京長さ技にペリ

小英國支那

計では形く特下各総の か大事能行きれる空であ 中央部で立案中の指校 中央部で立案中の指校 があれた。

下二日韓】第○歐州 「日本後四時四十五 八日午後四時四十五 八日午後四時四十五 八日午後四時四十五

人々に感動を奥へた

して明意を述べ居合す

、さぞ皆様も淋らい

訪問着、 振袖、裾模様、唐織丸帶京都一流の染織業者の代表的流行品して染織せ 日日は五日間近り日 變織名古屋帶コート地 錦紗友禪着尺

御婚禮初度大賣出

を高ほき奉る秋晴の一日ゆるり 幸先 4 美西年の秋 芽出度を脚盛儀

今秋流行の染織品 田中屋異服店に東る

りとを 兩 松尾 庵堂 電力四七八番聖徳街寺里三五 してきを楽しむ息抜き場所であるけてきを楽しむ息抜き場所であるけてきを楽しむ息抜き場所である

な以て得々さしてゐるのである。

名

かごといい

名月や入江柳かな船岸ぶ名月や入江柳かな船岸ぶへ名月のしばら隣れら流れら

をれたのなに影がない。 一種月の船か出も居る活かな 小平島 田村 秋泉 小平島 田村 秋泉

きがあった。

満場

出てみたいのだ

小泉は、逸見さんの腹の中

路さんは、台詞の書いた三が小泉君、忠信和

た紙を一枚づい配布

の五人にお願ひいた!

問した。

蟷螂の他くさまる稲穂か

蜥蜴の鎌もたげ 蟷螂の斧美しる 打りな観ます。えー那質け、三輪 けいな観ますのち、ご苦勞ですから は出来ません。極初の秘ですから は出来ません。極初の秘ですから は出来ません。極初の都合で、人数 が静院されました。そこで準備委 が静院されました。そこで準備委 が静院されました。そこで準備委

書

(20)

岩倉獨特の大観賣日

廿五日より五日間!

致します。
一致します

一致します

一致します

経好のお買物時は 年中で一番安い 手中で一番安い

るさ、信子線が見に来るかも知れないので、去年のやうに都一つで 触が見に来るかも知れる。 「その部份つてのが、あってもは少し部份でれ」 「鬼俗壊滅ですよ」 少し慰地味だったれし

れは毎年の通り

です」で被談した。「しかし

「あんなものに接寄するつてさこれ」 もんですれ」 いさんはへんな理解をつ 人間は脱始時代に選

いや、儒なんかもうこの歳で出しれば人類が落ちるでせう」 軍甲金は 小泉が、

本駄石衛門、那賀書が、辨天小僧

奉仕提供品の一部 家具日用品の大亂賣

陶磁器の大亂動

小羅倉紗

厚

司

連府信憑

本

海話四四点七番

馬車代

發賣元

福祿商

會



ミト属下 ネヨ山内 巻7四0三話電 (ク食ハ産)

う

湯

0

時:

か

b

花·

E

鹼

岩倉獨特の大亂賣日

廿五日より五日間!

医院 大連市西達(常營養配益中間) ・電話六七五二番・

器障病病病

法爽二

七町の吉市連大 七六二三話電

風。良

呂かい

加。石。

减, 鹼,

石鹼は皮膚を刺載す ません 純粹度九九・ お肌にも悪かに作用 てに精選された花玉 く純良さを特長とし て居ります 赤ちやんの 四%ま



阪大・會商瀬長社會式株齢石王花・京東

一根眼科醫 なら 號院 測量機裝圖用品 頭痛 は苦痛だ 内田洋 内田洋 行

7.17.7077 諸南滿關 官 鐵政 軍 海露支特許野炭式の開発 フクロクス 御 用 1111 品 大阪·東 夫連市伊勢町一〇一 美風 堂 營 業 **李天市浪速通三三** 京日本梅通七八 松田清 平 商 行 最話三〇五

五所